

オルガノ株式会社

2018年3月期決算説明会

(証券コード：6368)

2018年5月15日

目次

1. 会社概要
2. 2018年3月期通期実績
3. 2019年3月期計画
4. 経営理念・長期経営ビジョン
5. 新中期経営計画（2018～2020）

目次

1. 会社概要
2. 2018年3月期通期実績
3. 2019年3月期計画
4. 経営理念・長期経営ビジョン
5. 新中期経営計画（2018～2020）

1-1. 会社概要

社名	オルガノ株式会社（英名：Organo Corporation）	
本社所在地	〒136-8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号	
設立	1946年5月1日	
代表者	代表取締役社長 鯉江 泰行	
資本金	82億2,549万9,312円	
従業員数	2,179名（連結） ※2018年3月31日現在	
主な事業内容	水処理エンジニアリング事業	プラント事業 大型水処理設備の製造販売
	ニアリング事業	ソリューション事業 設備のメンテナンス・運転管理・改造工事等
	機能商品事業	標準型水処理機器、水処理薬品、 食品添加剤の製造販売
主な事業所	本社（東京都江東区）、開発センター（相模原市）、 つくば工場（つくば市）、いわき工場（いわき市）、 北海道支店（札幌市）、東北支店（仙台市）、 関東支店（東京都江東区）、中部支店（名古屋市）、 関西支店（吹田市）、中国支店（広島市）、九州支店（福岡市）	

1-2. オルガノグループ各社


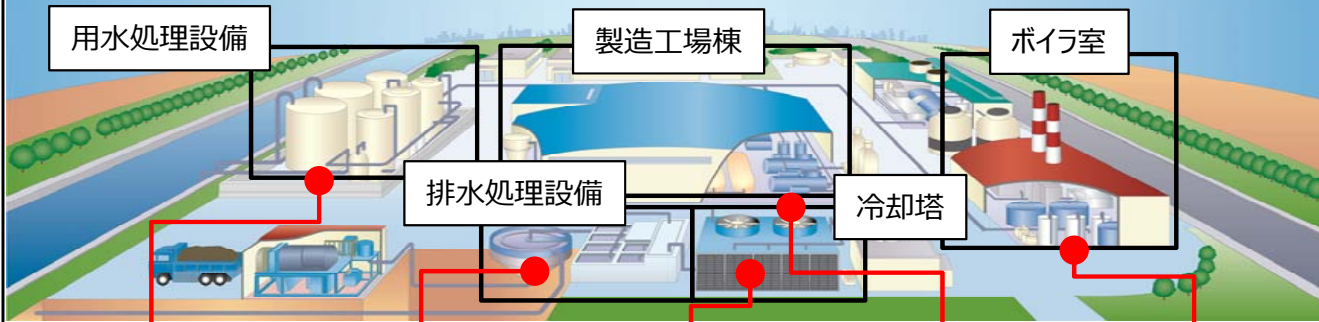

エリア	会社名	主な事業内容	
国内	オルガノプラントサービス オルガノエコテクノ オルガノアクティ	水処理エンジニアリング事業 (大型水処理関連設備製造・ 施工・メンテナンス等)	
	オルガノフードテック	機能商品事業 (食品加工材製造・販売)	
	ホステック (※1)	機能商品事業 (標準型水処理機器製造)	
	東北電機鉄工 (※2)	化学プラント工事等	
海外	中国	オルガノ (蘇州) 水処理有限公司	
	台湾	オルガノ・テクノロジー	
	東南 アジア	オルガノ (アジア) <マレーシア> オルガノ (タイランド)	水処理エンジニアリング事業 (大型水処理関連設備製造・ 施工・メンテナンス等)
		ラウタン・オルガノ・ウォーター <インドネシア>	
		オルガノ (シンガポール) (※1)	
		オルガノ (ベトナム) (※1)	
	南 アジア	ムルガッパ・オルガノ・ウォーター・ ソリューションズ <インド> (※3)	

※1 非連結子会社、※2 持分法適用会社、※3 関係会社

1-3. 水処理エンジニアリング事業・事業概要

プラント事業	主な対象分野
<p data-bbox="181 371 925 544">最先端の高度な技術を組み合わせた さまざまな用途に適する 水処理関連設備</p> <ul data-bbox="152 587 813 783" style="list-style-type: none">◆ 用水製造設備（純水、超純水等）◆ 排水処理・排水回収設備◆ 有価物回収設備◆ プロセス関連設備（糖類精製等） 	<p data-bbox="1630 587 1955 635">電子産業分野</p> <p data-bbox="1547 647 2040 683">半導体／液晶／各種電子部品等</p> <p data-bbox="1686 756 1906 804">電力分野</p> <p data-bbox="1563 817 2024 852">火力発電所／原子力発電所等</p>
ソリューション事業	
<p data-bbox="170 1042 1435 1141">水処理設備の最適な運用を実現するソリューションを提供</p> <ul data-bbox="152 1150 712 1337" style="list-style-type: none">◆ 消耗品交換・メンテナンス◆ 運転管理◆ 改造工事◆ 水処理加工受託 	<p data-bbox="1637 927 1955 975">上下水道分野</p> <p data-bbox="1671 987 1921 1023">上水道／下水道</p> <p data-bbox="1637 1096 1955 1144">一般産業分野</p> <p data-bbox="1529 1157 2063 1192">食品／飲料／医薬／化学／機械等</p>

1-4. 機能商品事業・事業概要

<h2>標準型機器・フィルター</h2>	<h2>水処理薬品</h2>
<p>標準型機器</p> <p>研究機関・病院等での実験・分析・検査などに用いられる高純度の水を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆超純水製造装置 ◆純水製造装置  <p>ピューリック・ピュアライトαシリーズ</p>	 <p>RO水処理薬品 スライムコントロール剤 スケール防止剤等</p> <p>排水処理薬品 凝集剤・栄養剤・ 消泡剤等</p> <p>冷却水処理薬品 スライムコントロール剤 分散剤等</p> <p>洗浄薬品 化学洗浄剤・ スライム剥離剤等</p> <p>ボイラ水処理薬品 脱酸素剤・分散剤・ 清缶剤等</p> <p>工場やビルでさまざまな用途に 最適な水質管理を実現できる薬品</p>
<p>フィルター</p> <p>飲料水やコーヒーなどに適した美味しく安全な水</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆コンビニ・厨房・カップ式自販機など向けの浄水フィルター等  <p>オルガノフィルター D-4D</p>	<h2>食品加工材</h2> <p>高齢者食、介護食市場や弁当・惣菜などの中食市場、機能性食品・栄養補助食品などに向けた食品素材・食品添加剤など時代の要請に応える食品加工材</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ゼリー、たれ等向けのゲル化剤、増粘剤 ◆たん白、食物繊維等の食品素材等

目次

1. 会社概要
- 2. 2018年3月期通期実績**
3. 2019年3月期計画
4. 経営理念・長期経営ビジョン
5. 新中期経営計画(2018～2020)

2-1. 2018年3月期通期実績

(単位：億円)

	2017.3 実績	2018.3 計画	2018.3 実績	前期比	計画比
受注高	740	785	880	+ 140	+ 95
売上高	811	810	792	△ 19	△ 18
売上総利益 (%)	186 (23.0%)	176 (21.8%)	191 (24.2%)	+ 5 (+ 1.2pt)	+ 15 (+ 2.4pt)
販管費	145	146	153	+ 8	+ 7
営業利益 (%)	41 (5.1%)	30 (3.8%)	38 (4.8%)	△ 3 (△ 0.3pt)	+ 8 (+ 0.9pt)
経常利益	41	29	39	△ 2	+ 10
親会社株主に 帰属する 当期純利益	27	20	27	+ 0	+ 7

2-2. 通期業績概況

受注高

前期比増・計画比増

売上高

前期比減・計画比減

営業利益

前期比減・計画比増

水処理エンジニア事業

受注高は国内・中国での活発な投資を背景に電子産業分野が大幅伸長
売上高は受注好調な国内・中国で増加も、台湾での減少響き前期比減

機能商品事業

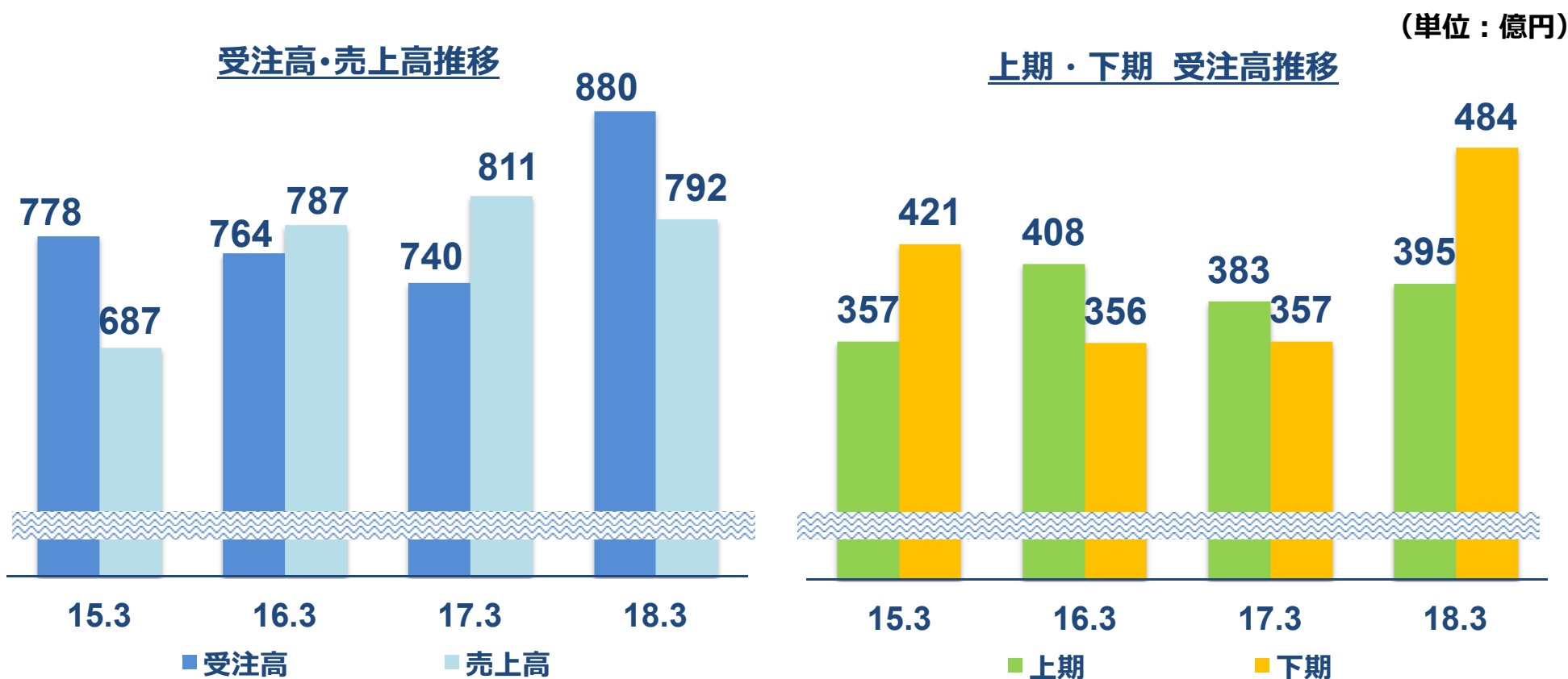
新商品を上市した標準型機器、海外向け薬品及び国内の電子・一般
産業分野が好調に推移した水処理薬品の受注・売上が拡大

全 般

営業・技術・納入体制の強化や外国出願の強化、研究開発投資の拡大など
により販管費が前期比で増加

2-3. 受注高・売上高の推移

- 2018年3月期は過去最高水準の受注高を達成
- 受注時期が想定より遅れ下期に集中したため売上は前期比減
- 翌期以降の売上となる受注残高は高い水準

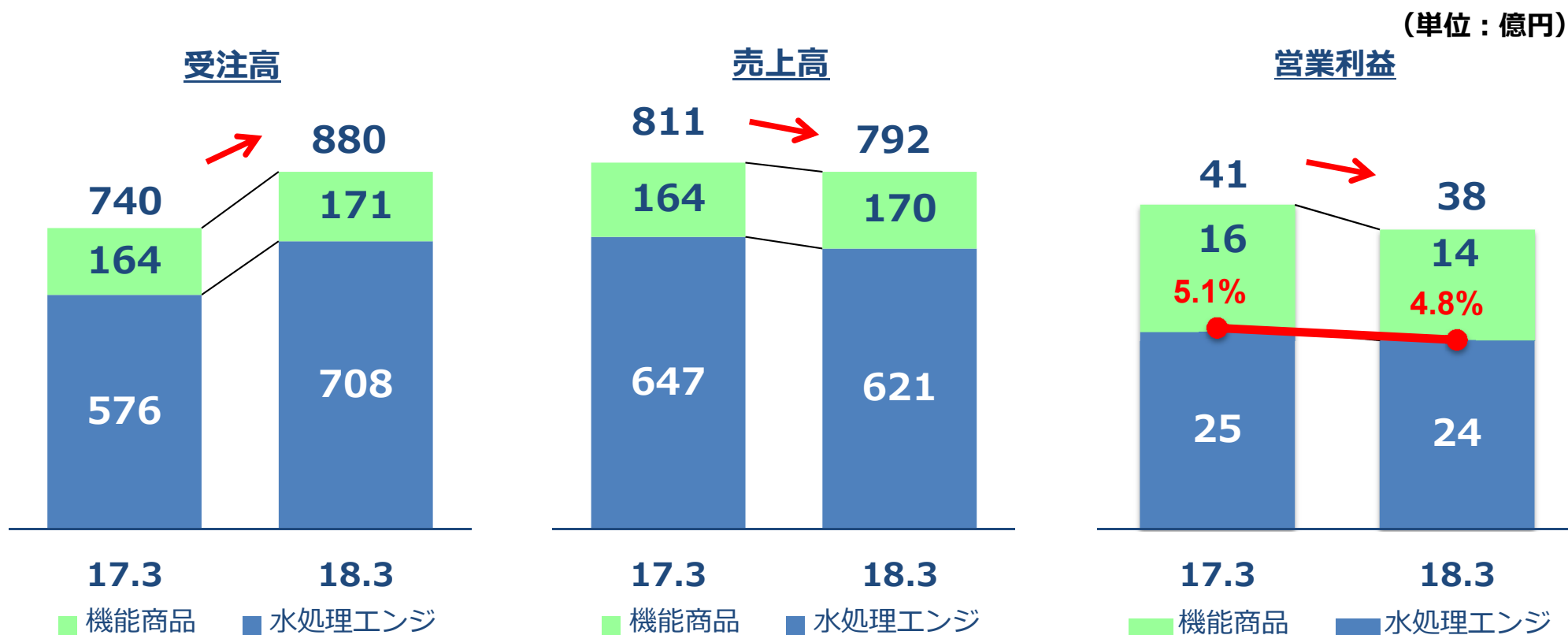


2-4. セグメント別 受注・売上・営業利益

受注高：国内・中国で電子産業分野の大型案件受注により増加

売上高：台湾の電子産業分野で投資に一服感あり減少

営業利益：原価率改善し売上総利益増加も販管費増により減少

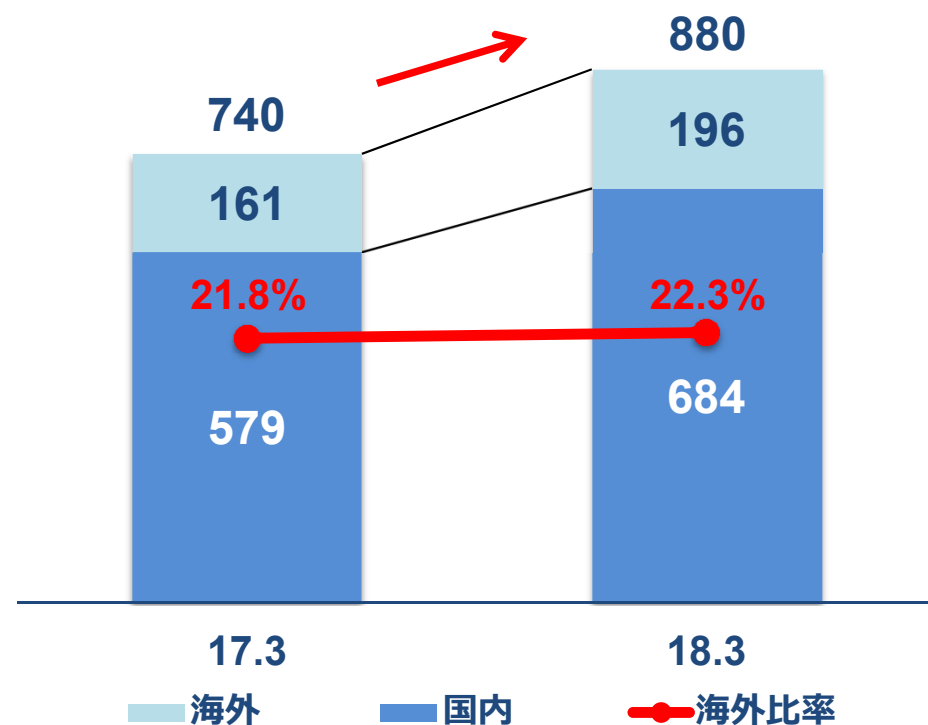


2-5. 地域別受注高

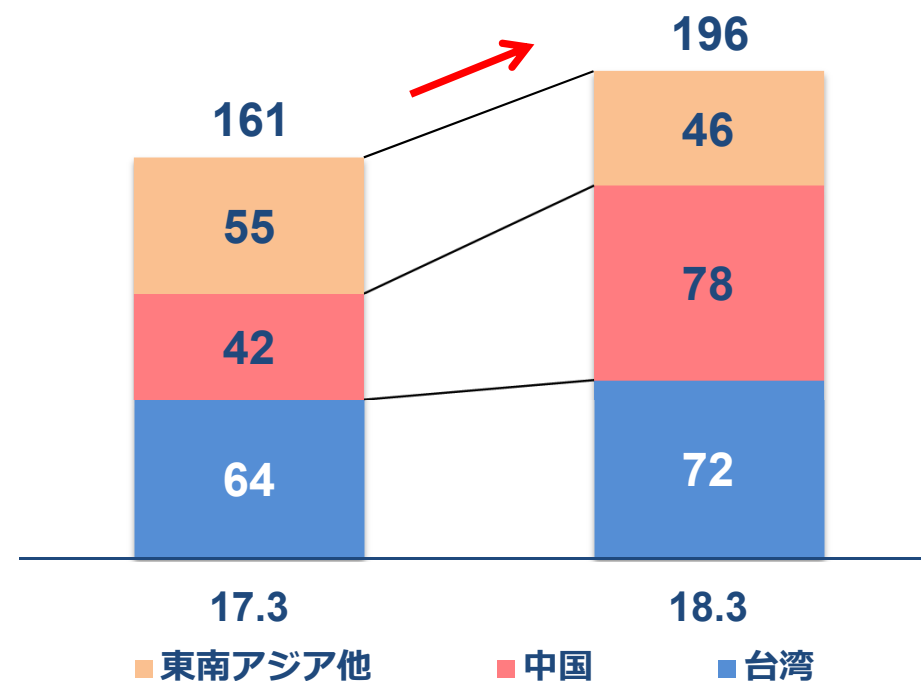
国内：半導体・電子材料向けなど電子産業分野で大幅に受注増

海外：大型の半導体投資が続く中国で大幅増、台湾も回復傾向、
東南アジアでは電力案件の伸び悩み響く

国内・海外別 受注高



海外地域別 受注高 (単位：億円)



2-6. 地域別売上高

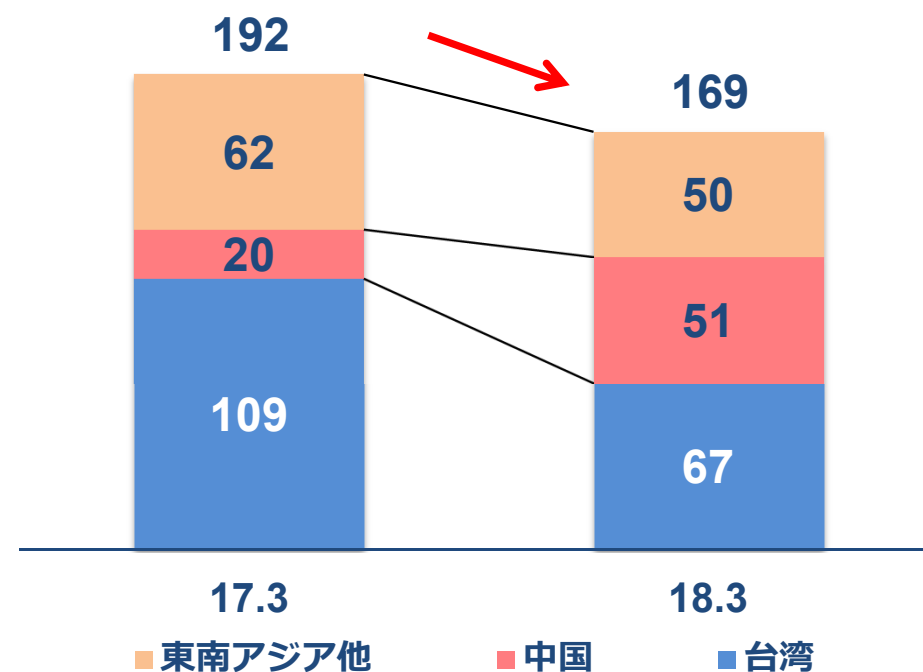
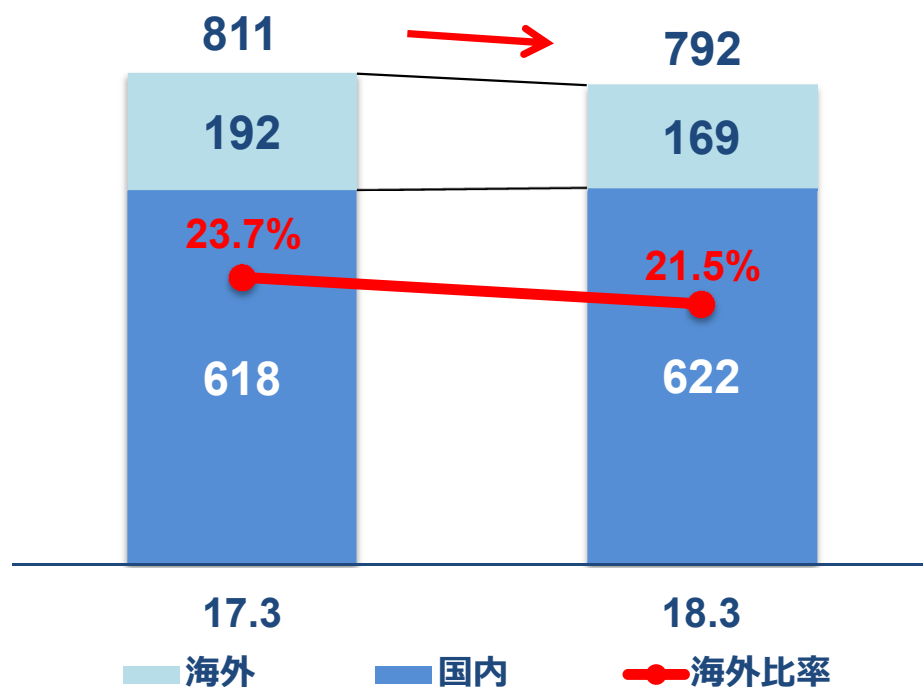
国内：半導体・電子材料向けなど電子産業中心に売上増

海外：中国が大幅に伸張も、投資に一服感みられた台湾で減少、
東南アジアも勢いを欠く状況が続く

(単位：億円)

国内・海外別売上高

海外地域別売上高

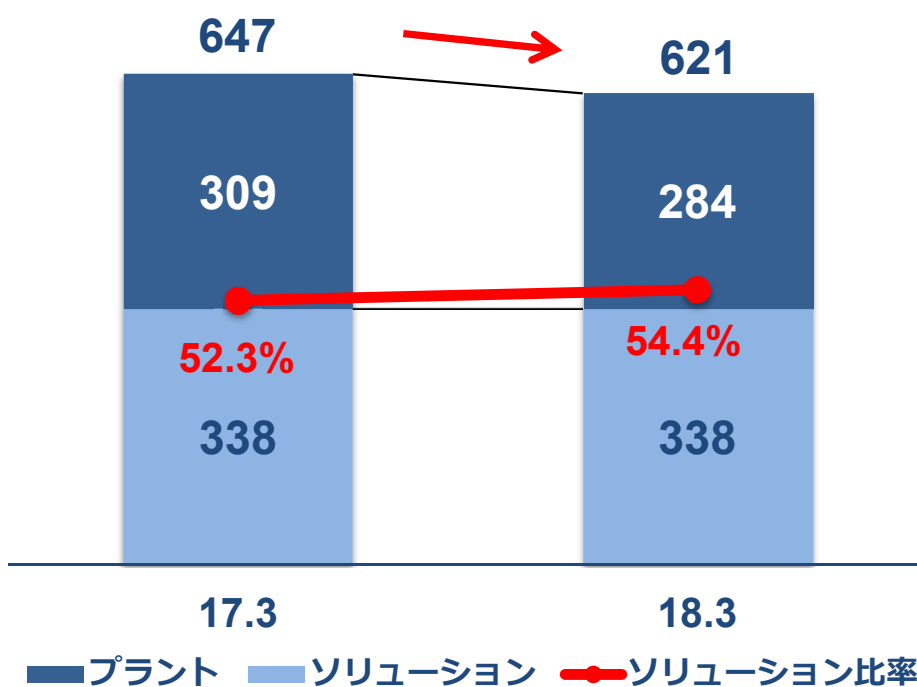


2-7. 部門・顧客別売上高(水処理エンジニア)

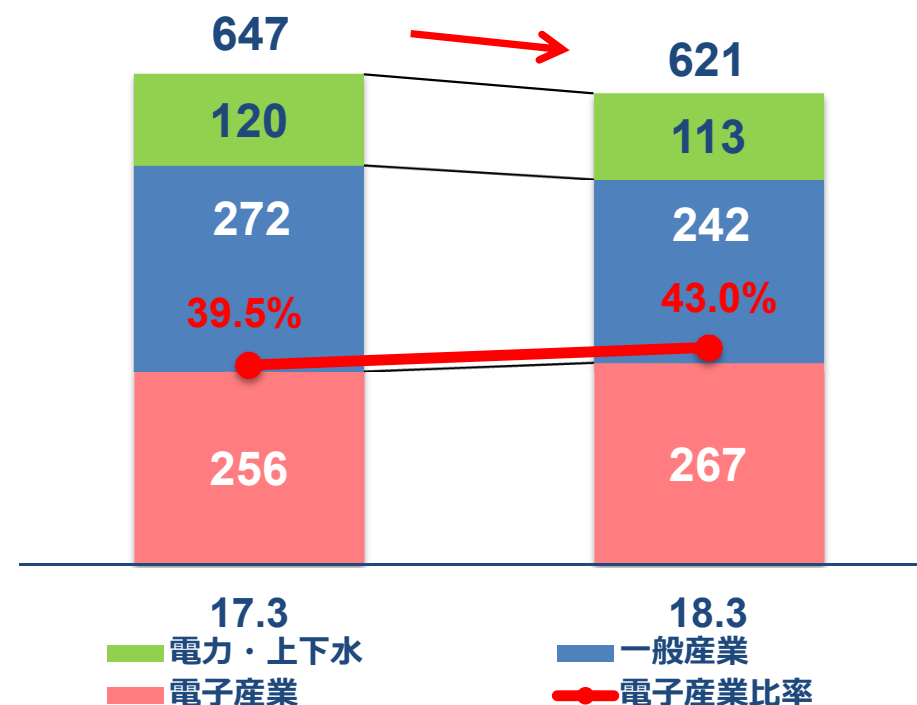
- 国内・中国の電子産業分野の売上が増加するも、前期大型案件の売上を計上した国内一般産業分野の減少が響き減少
- ソリューション売上は前期並、安定的に収益に貢献

(単位：億円)

水エンジニア事業：部門別売上高



水エンジニア事業：顧客別売上高



2-8. 電子産業 受注高・売上高（水処理エンジニア）

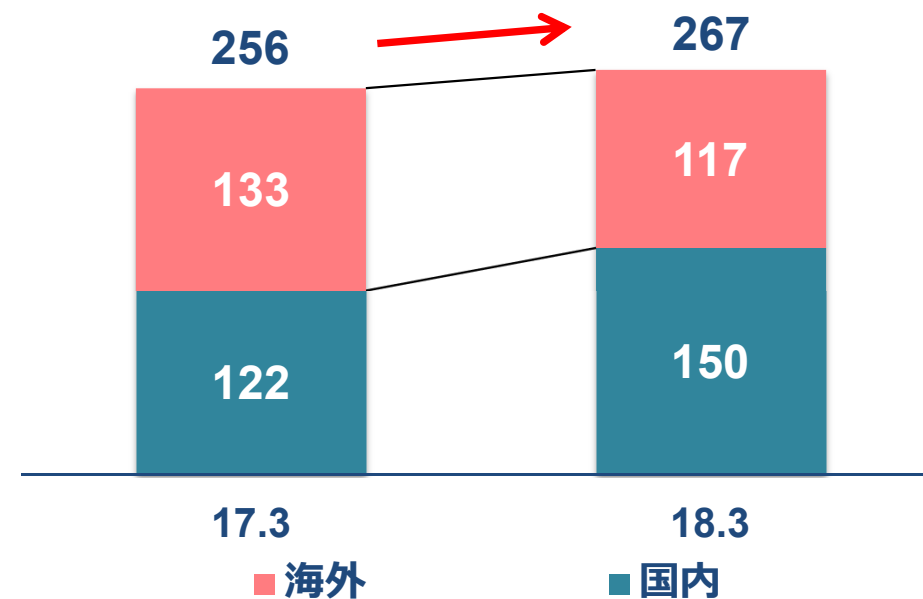
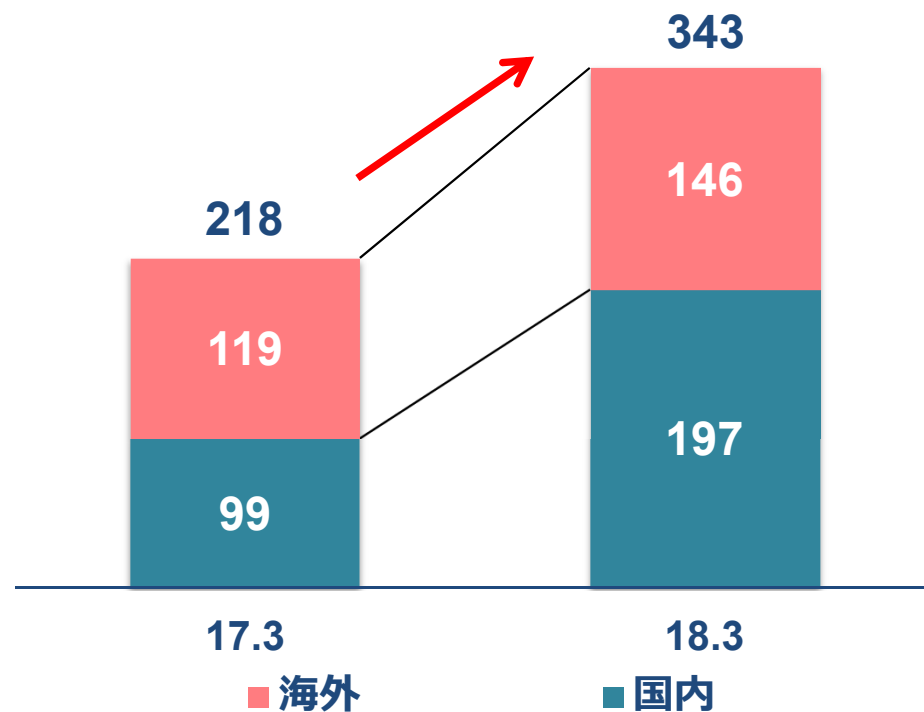
受注高：国内・中国で大型案件を受注、2018年以降の売上となる
繰越受注残が大幅増加

売上高：台湾では減収も国内・中国でカバーし前期比増

電子産業向け受注高

電子産業向け売上高

(単位：億円)

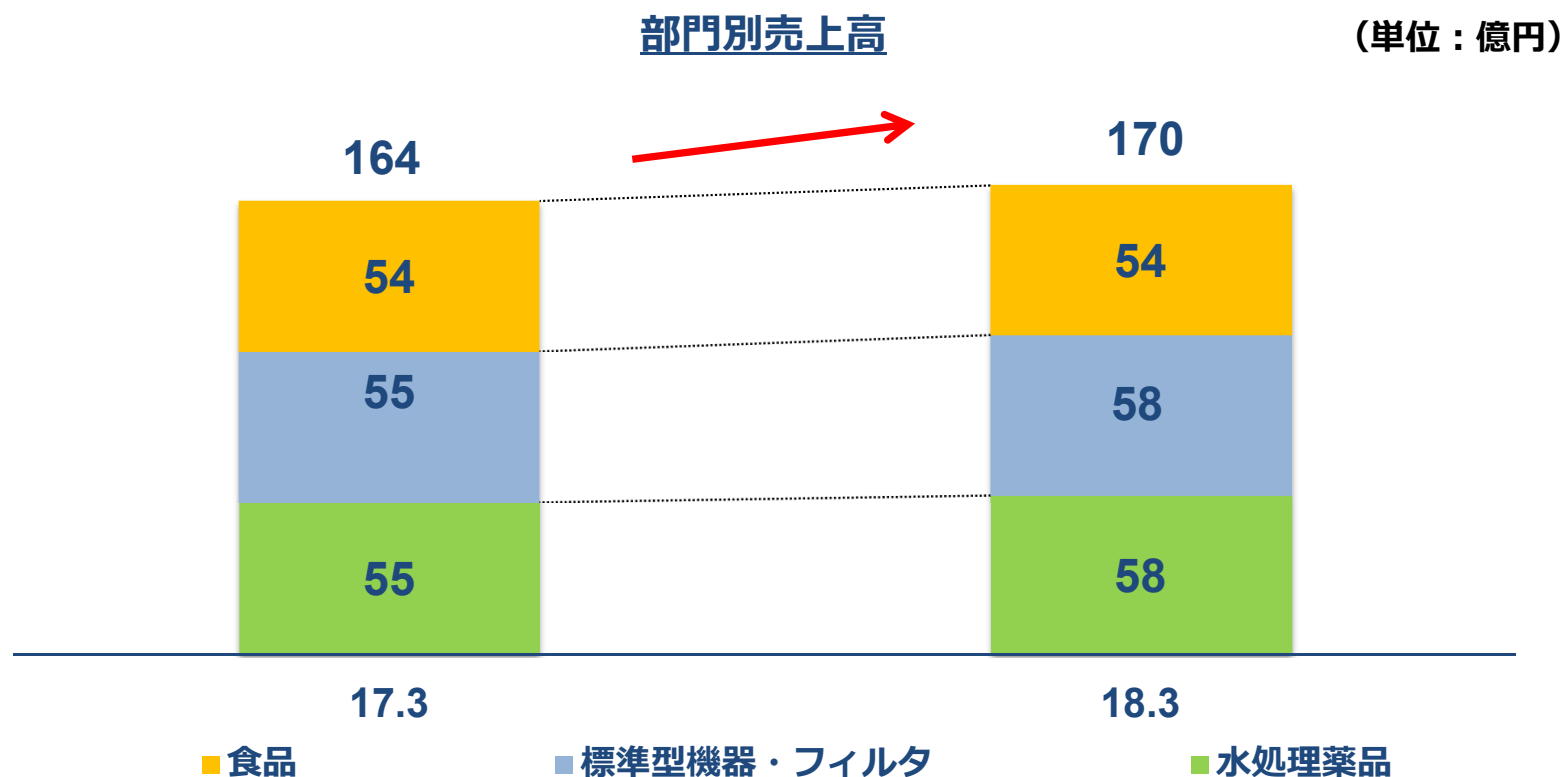


2-9. 部門別売上高（機能商品）

標準型機器：新商品の好調な滑り出しが奏功し増加

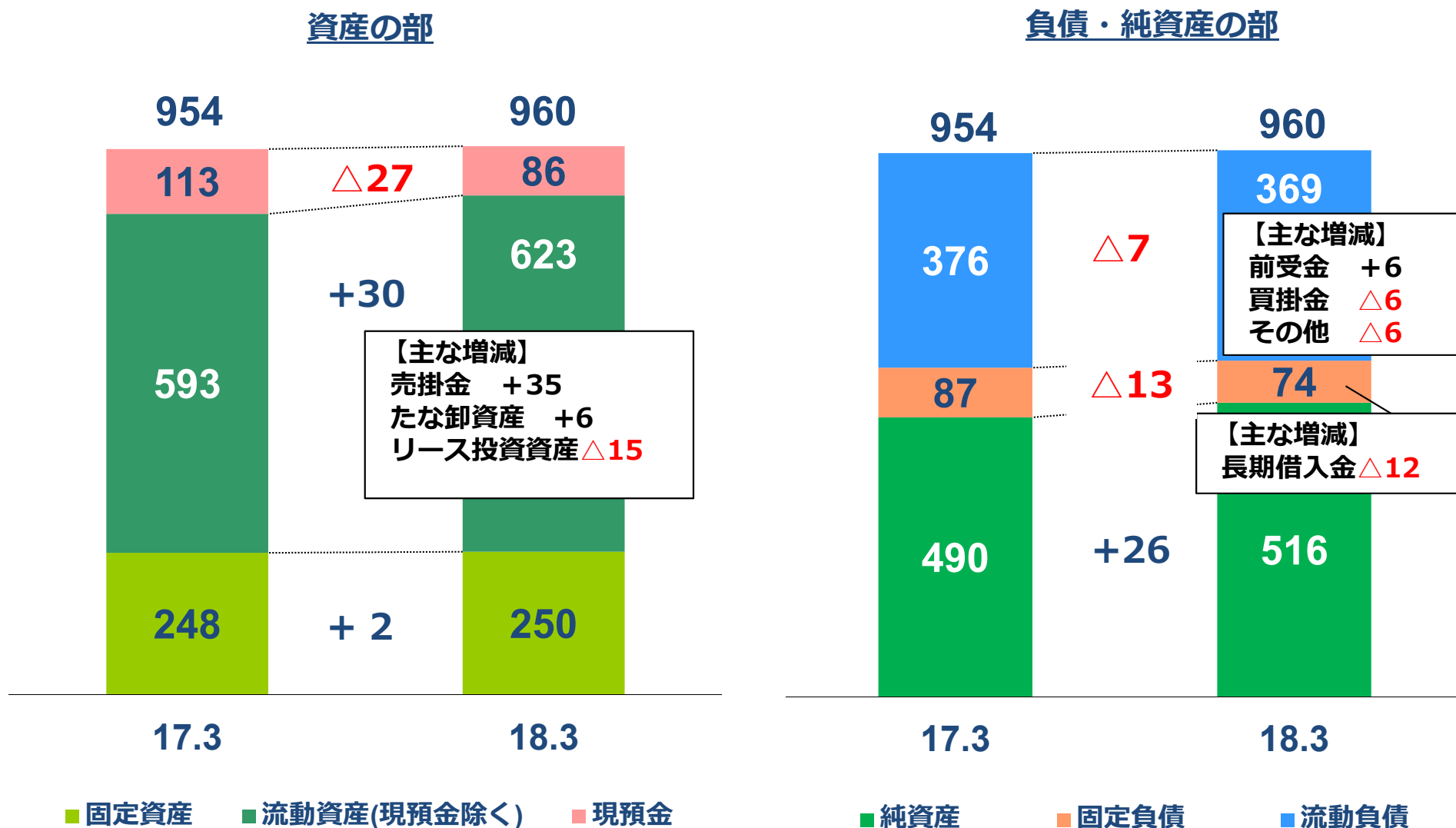
水処理薬品：国内外の電子産業向けが好調に推移し増加

食品加工材：売上は前期並も、介護用食品などに向けた
顆粒加工品が伸長



2-10. 貸借対照表

(単位：億円)



2-11. 主な指標

	2017年3月期	2018年3月期
設備投資額 (百万円)	903	644
技術研究費 (百万円)	1,495	1,776
減価償却費 (百万円)	950	972
有利子負債 (百万円)	16,910	15,484
従業員数 (人)	2,100	2,179
年間配当金 (円)	55	53
ROE (%)	5.7	5.5

※年間配当金については株式併合後の基準で換算

目次

1. 会社概要
2. 2018年3月期通期実績
- 3. 2019年3月期計画**
4. 経営理念・長期経営ビジョン
5. 新中期経営計画（2018～2020）

3-1. 2019年3月期計画

(単位：億円)

	2018.3 実績	2019.3 計画	前期比
受注高	880	870	△ 1 0
売上高	792	890	+ 9 8
売上総利益 (%)	191 (24.2%)	199 (22.4%)	+ 8 (△ 1.8pt)
販管費	153	157	+ 4
営業利益 (%)	38 (4.8%)	42 (4.7%)	+ 4 (△ 0.1pt)
経常利益	39	41	+ 2
親会社株主に 帰属する 当期純利益	27	28	+ 1

3-2. 2019年3月期計画 概況

受注高

前期比 減

売上高

前期比 増

営業利益

前期比 増

水処理エンジニア事業

繰越受注残の売上及び中国・台湾など中心に電子産業分野での活発な設備投資を見込む。一般産業分野も堅調な回復を予想

機能商品事業

ラインアップや海外展開を強化し、標準型機器・水処理薬品・食品の3分野で受注・売上の伸長を見込む

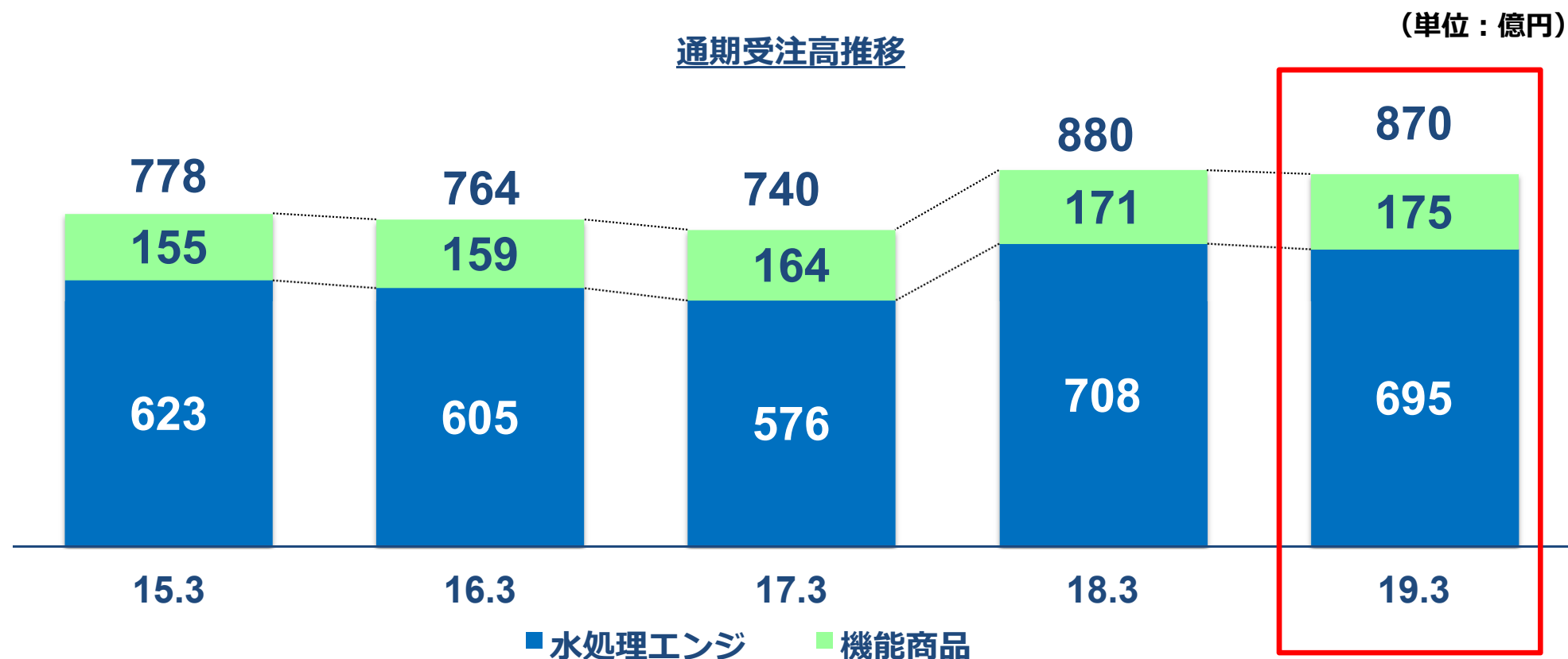
全 般

国内・海外の営業・技術・納入体制強化、情報システムの整備、研究開発の強化を継続し、販管費の増加を見込む

3-3. セグメント別受注計画

水処理エンジ : 国内の電子産業分野で減少を見込むも、
台湾・中国での大型投資を想定、高水準が続く

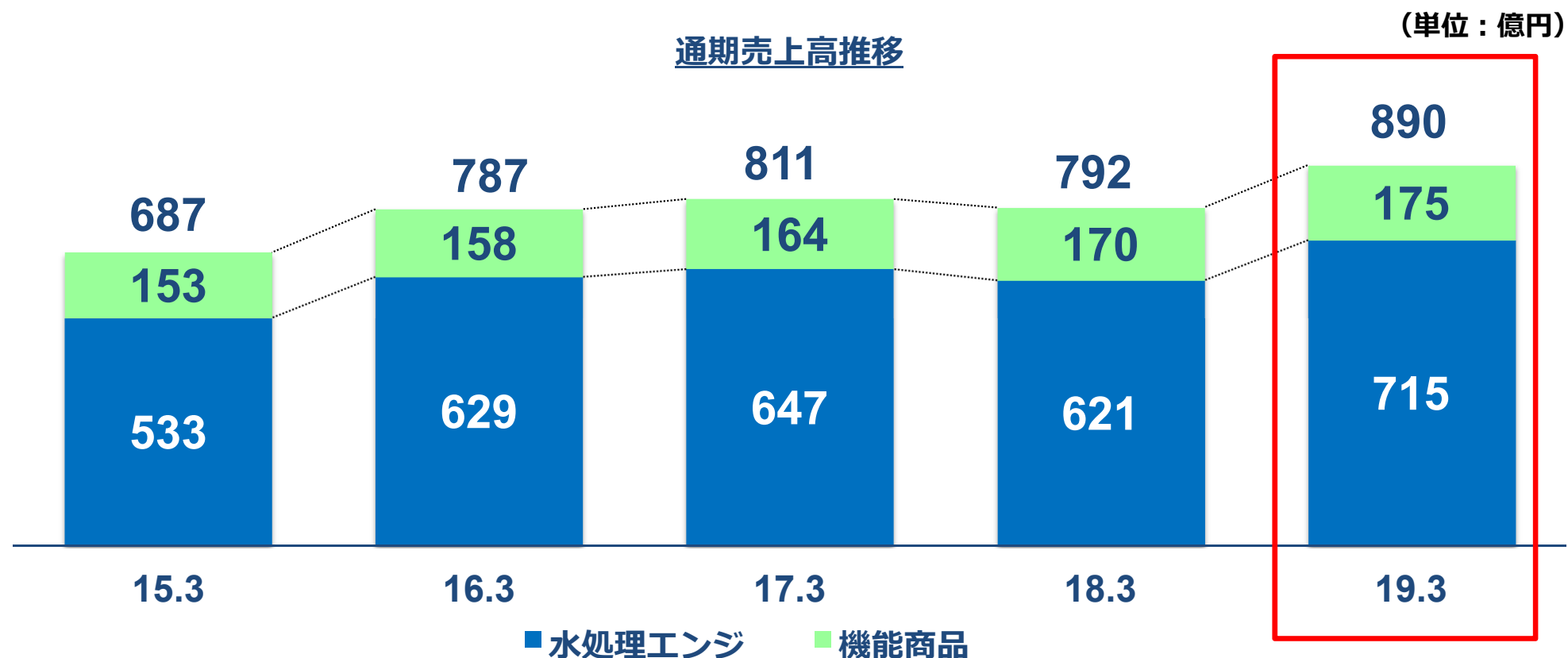
機能商品 : 機能商品は安定的な受注増を見込む



3-4. セグメント別売上計画

水処理エンジ：前期受注した国内・中国の大型案件の売上を見込む
売上高は計画達成で史上最高の更新を狙う

機能商品：機能商品は安定的な売上増を見込む

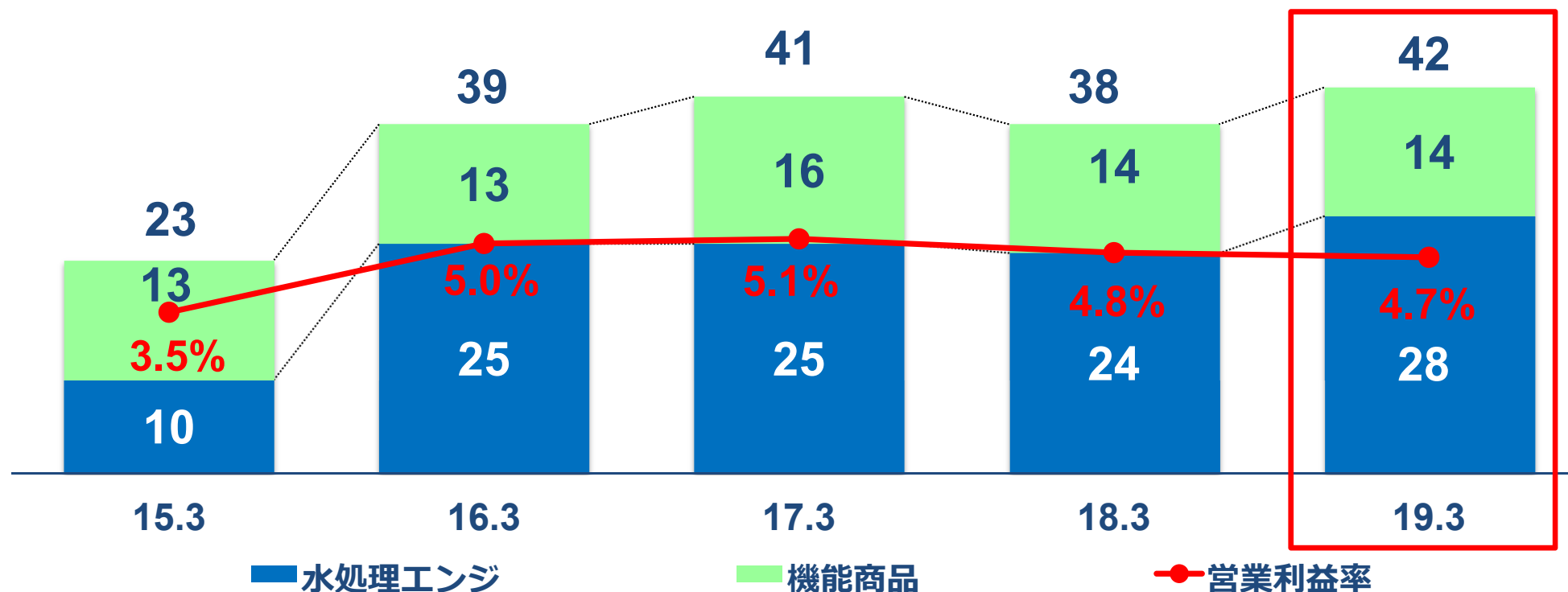


3-5. セグメント別営業利益計画

- 水処理エンジ営業利益は売上の拡大により前期比増を想定
- 機能商品は研究開発投資や体制強化など販管費の増加を計画

通期営業利益推移

(単位：億円)



3-6. 地域別受注計画

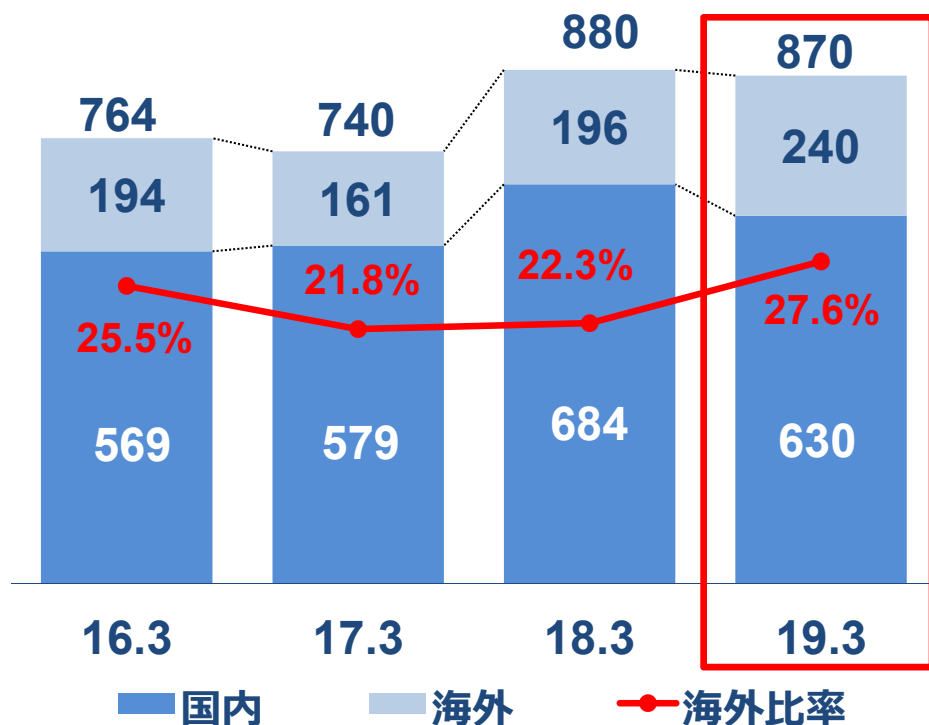
国内：前期好調だった国内の電子産業分野の受注減を想定

海外：海外受注高はレコードとなる240億円を計画

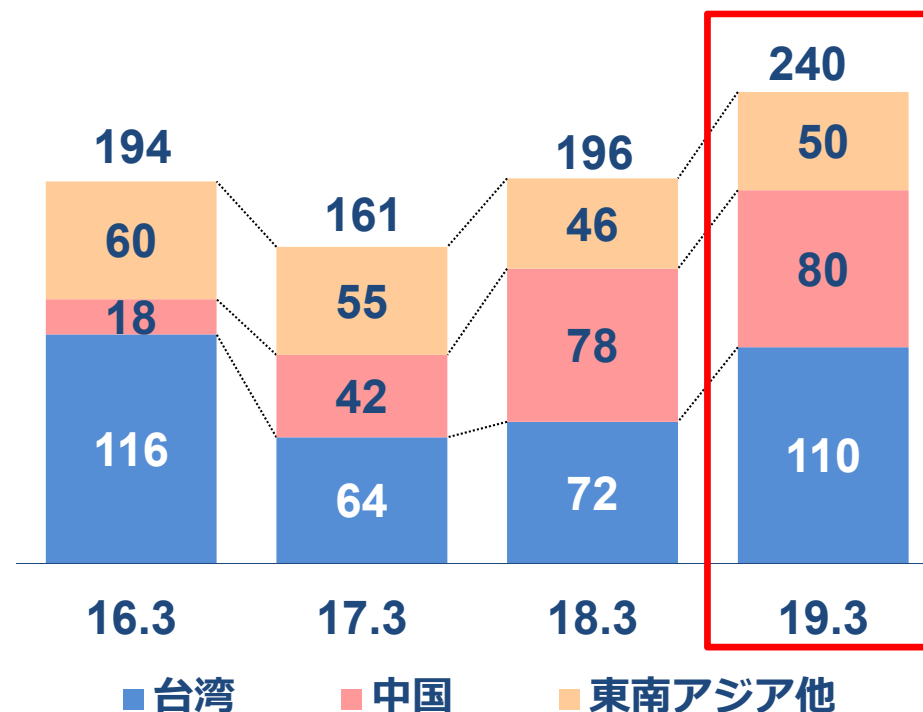
中国での大型投資に加え、台湾での投資回復を想定

(単位：億円)

国内・海外別通期受注高



海外 地域別通期受注高



3-7. 地域別売上計画

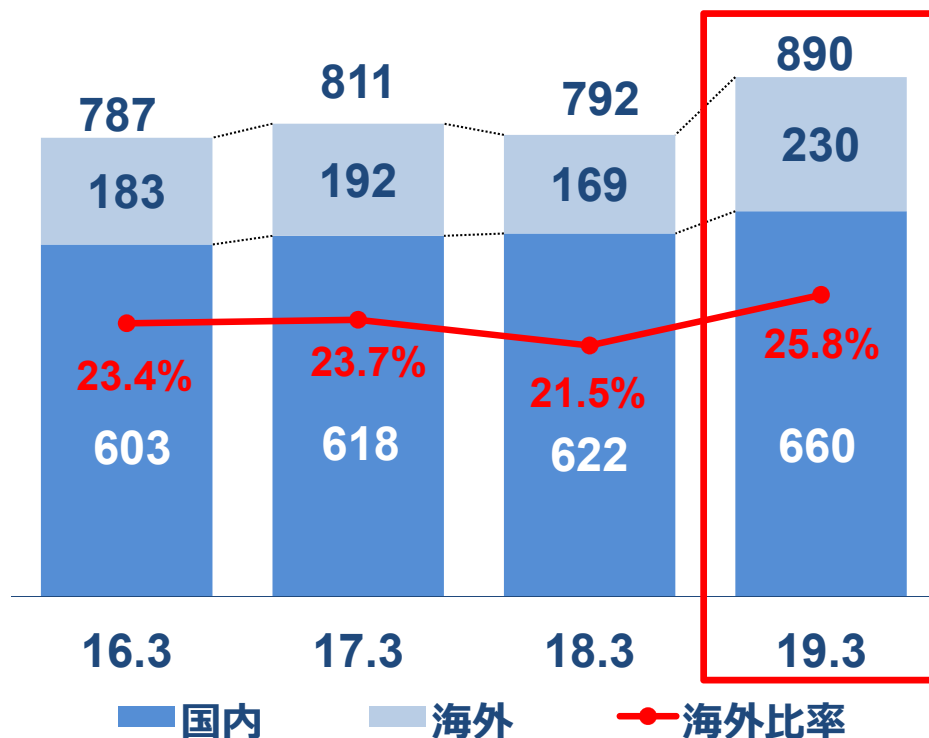
国内：前期受注した電子産業分野の大型案件の売上を計画

海外：海外売上高はレコードとなる230億円を計画

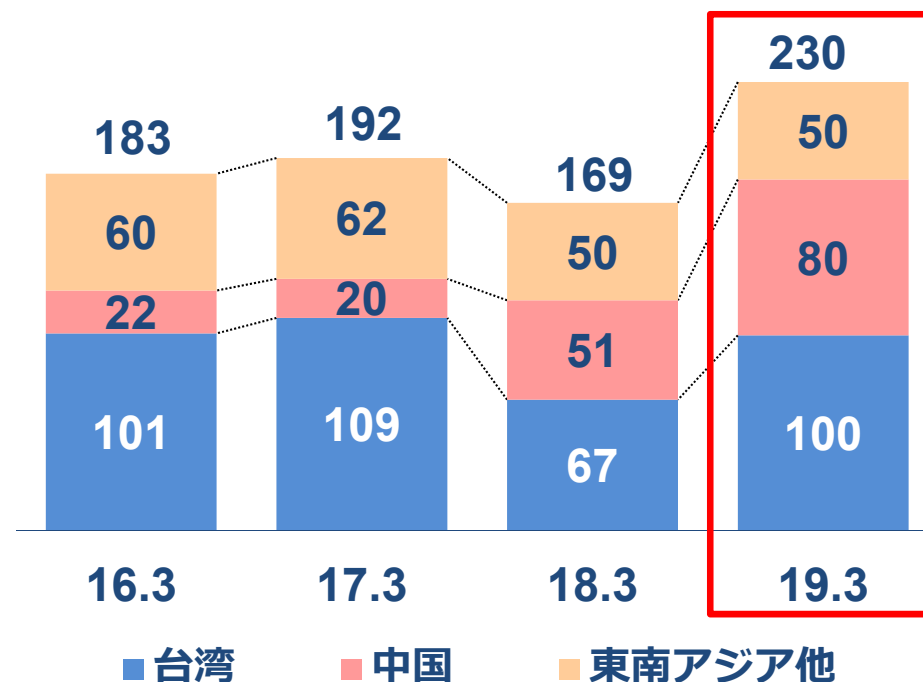
中国での増加に加え、台湾での投資回復を想定

(単位：億円)

国内・海外別通期売上高



海外 地域別通期売上高



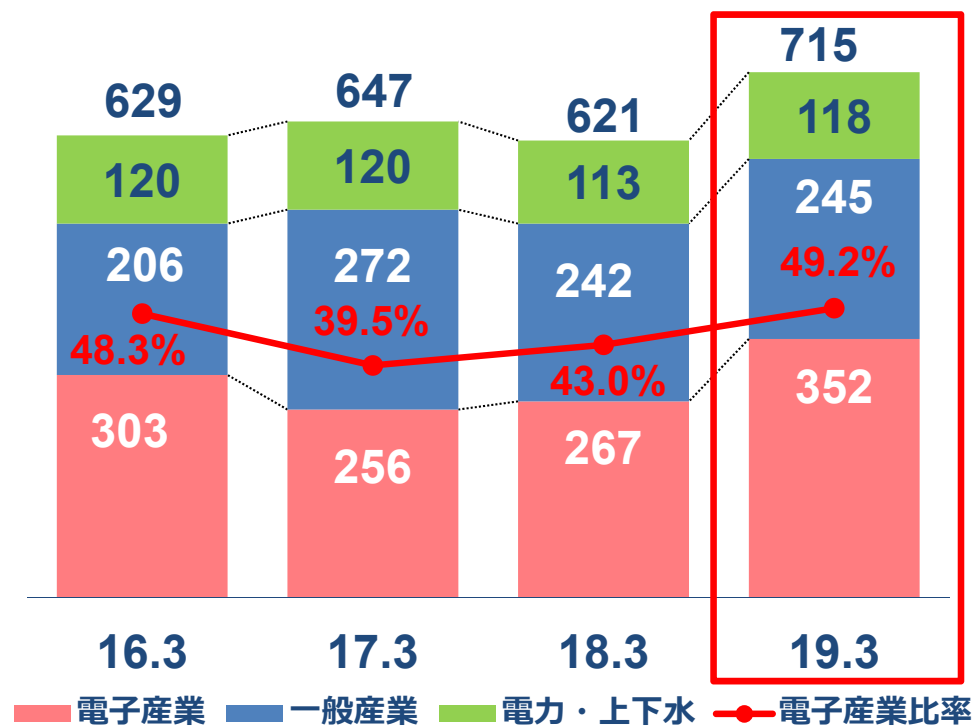
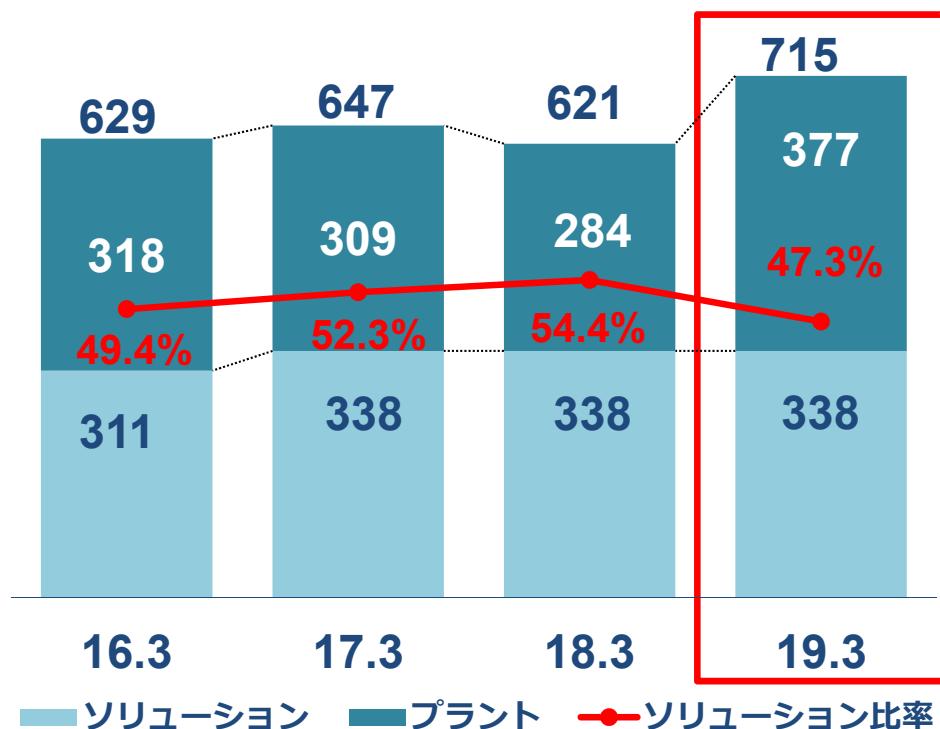
3-8. 部門・顧客別売上計画（水処理エンジニア）

プラント：前期受注した電子産業分野の大型案件の売上を見込む
 ソリューション：前期並の売上を計画、体制の見直しに取り組み、
 ソリューションビジネスの強化を図る

(単位：億円)

水エンジニア事業：部門別売上高

水エンジニア事業：顧客別売上高



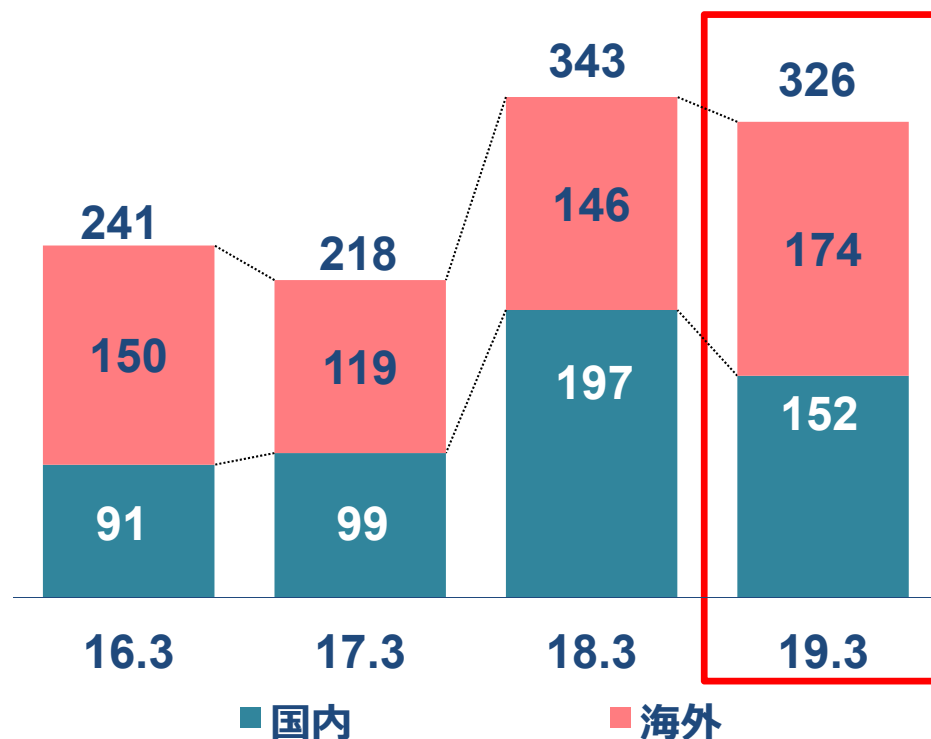
3-9. 電子産業 受注・売上計画（水処理エンジニア）

受注高：国内の減少見込むも中国・台湾での大型投資を想定

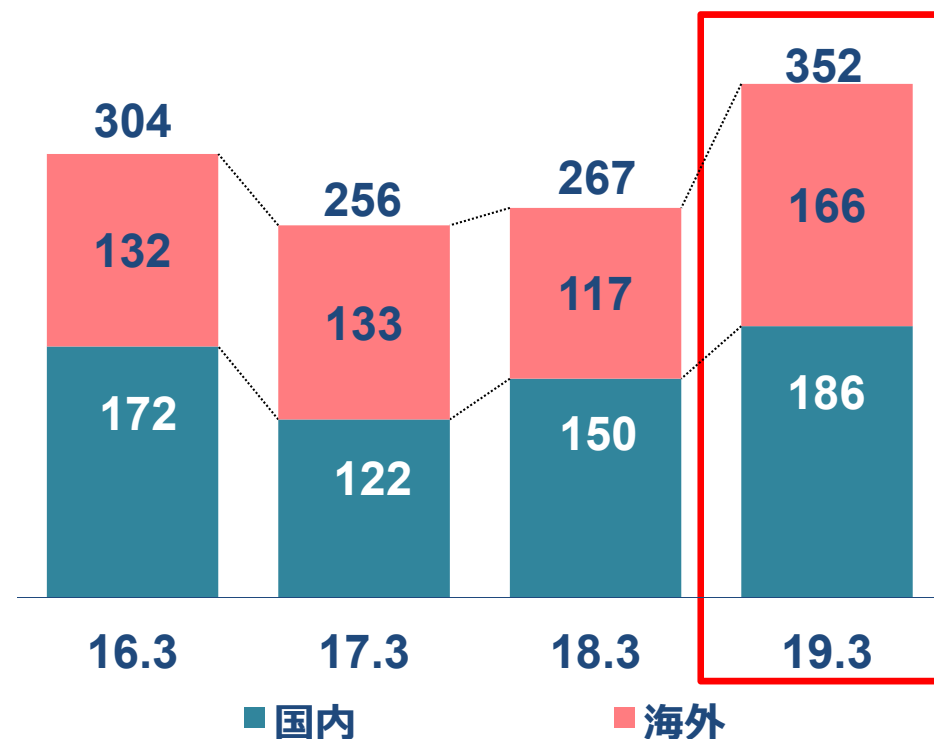
売上高：前期の受注残案件の売上見込む、国内外とも増収計画

(単位：億円)

電子産業向け受注高



電子産業向け売上高



3-10. 部門別売上計画（機能商品事業）

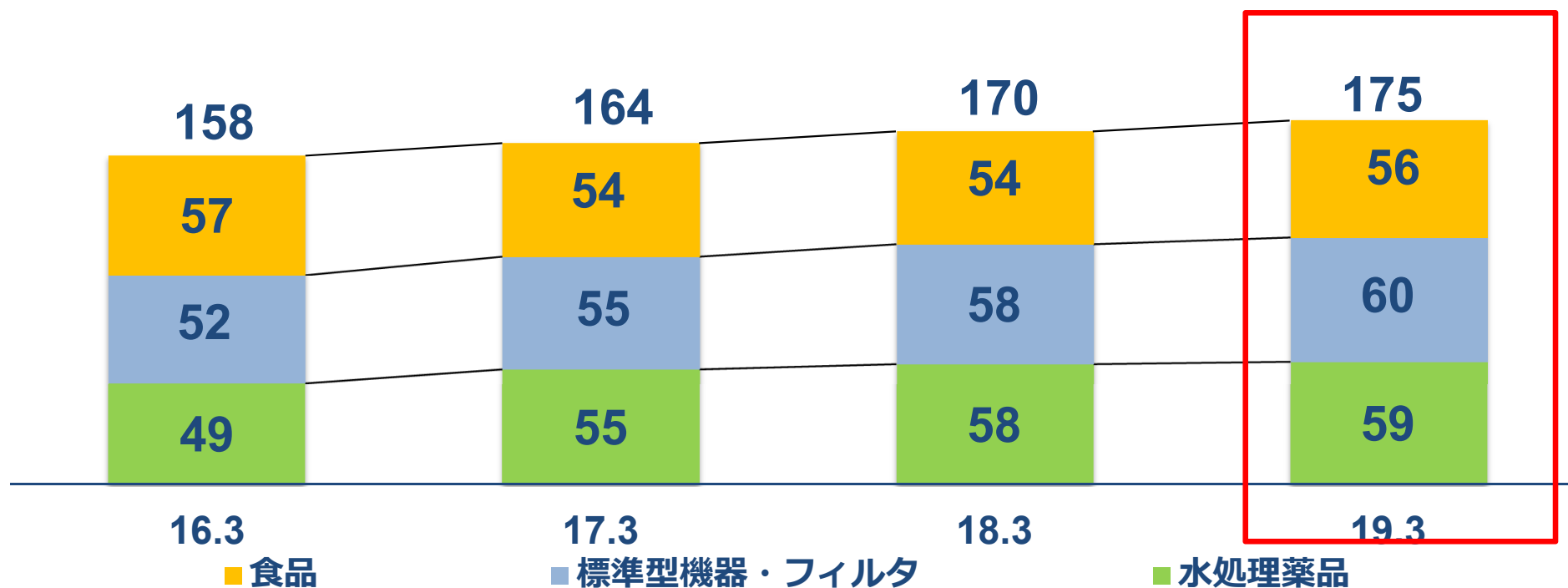
標準型機器：ラインアップの強化、海外展開による売上増を計画

水処理薬品：引き続き海外展開を強化し、売上増を狙う

食品加工材：介護食品向けの顆粒加工品等での売上増を計画

（単位：億円）

部門別通期売上高



3-11. 主な指標

	2018年3月期	2019年3月期 (計画)
設備投資額 (百万円)	644	900
技術研究費 (百万円)	1,776	1,950
減価償却費 (百万円)	972	1,100
有利子負債 (百万円)	15,484	16,000
従業員数 (人)	2,179	2,200
年間配当金 (円)	53	58
ROE (%)	5.5	5.2

※2018年3月期の年間配当金については株式併合後の基準で換算

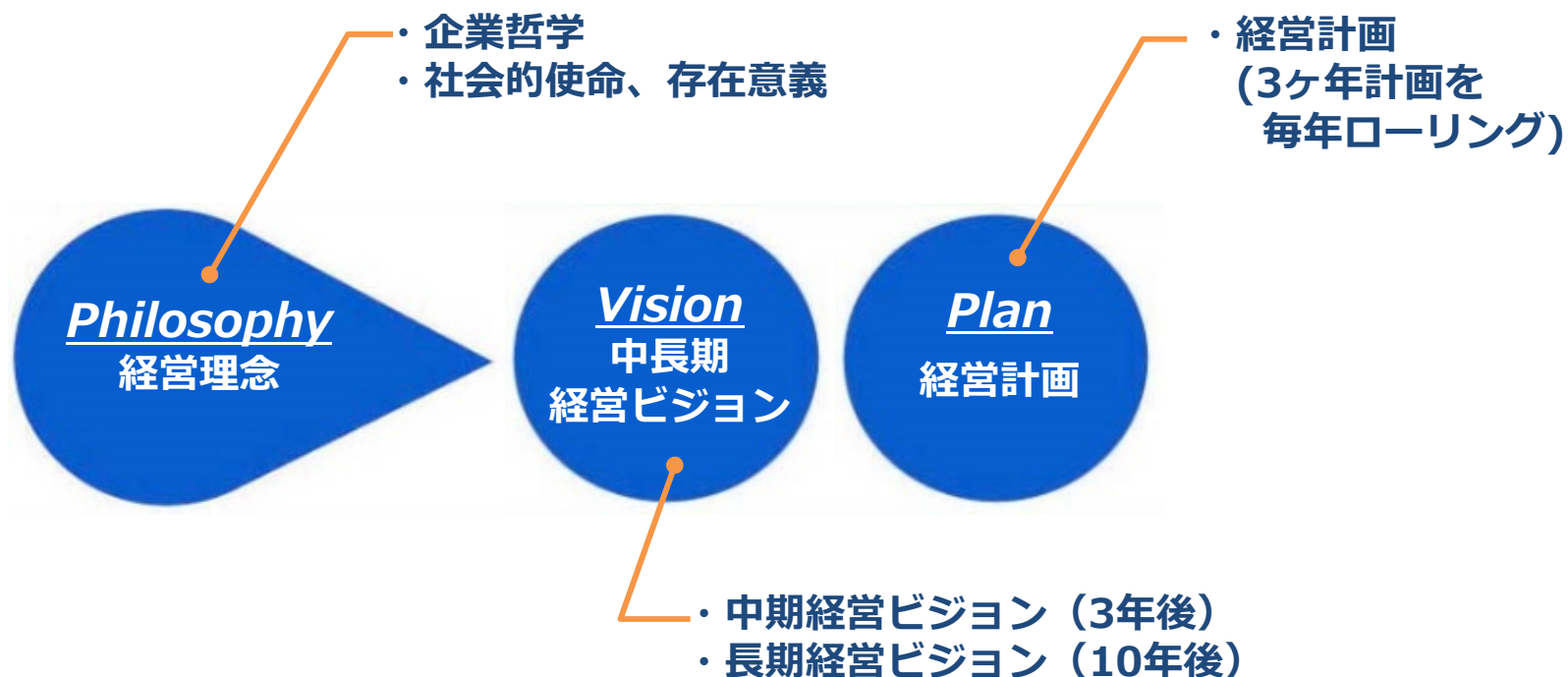
目次

1. 会社概要
2. 2018年3月期通期実績
3. 2019年3月期計画
- 4. 経営理念・長期経営ビジョン**
5. 新中期経営計画（2018～2020）

4-1. オルガノグループ理念体系の再編成

経営理念と経営ビジョン

従来の理念体系を再編成し、オルガノグループの企業哲学や社会的使命・存在意義を示す「経営理念」、中長期の方向性を見据えた「経営ビジョン」を経営計画の上位概念として設定



4-2. 経営理念

経営理念

オルガノは
水で培った先端技術を駆使して
未来をつくる産業と社会基盤の発展に貢献する
パートナー企業としてあり続けます

- オルガノは、水に関わる技術・サービスを幅広く展開し、産業・環境・生活の発展と調和に貢献する
- オルガノは、水で培った先端技術を、水以外の領域にも展開し、産業の発展や社会の課題解決に貢献する
- オルガノは、全てのステークホルダーのパートナーとして、ともに経済的・社会的価値の創造を追求する

4-3. 長期経営ビジョン

長期経営ビジョン

付加価値の高い分離精製・分析・製造技術を基に
事業領域と展開地域を拡大し、
産業と社会の価値創造と課題解決を推進する
製品・サービスを絶えず提供します

昨日までのやり方を、明日に向けて、
今日変える人をつくり、
一人ひとりが働きがいと活力に満ちた企業を
構築します

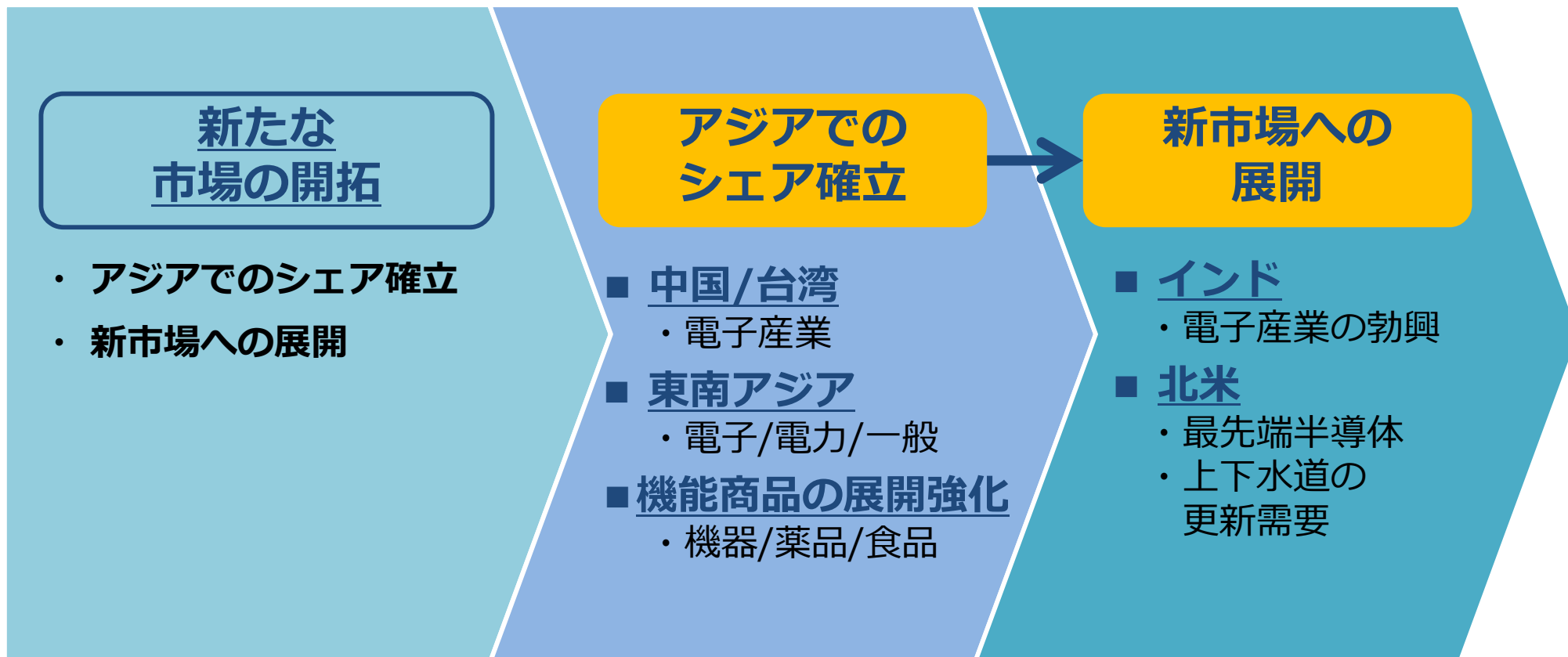
4-4. 長期経営ビジョン：事業領域の拡大

事業領域の拡大



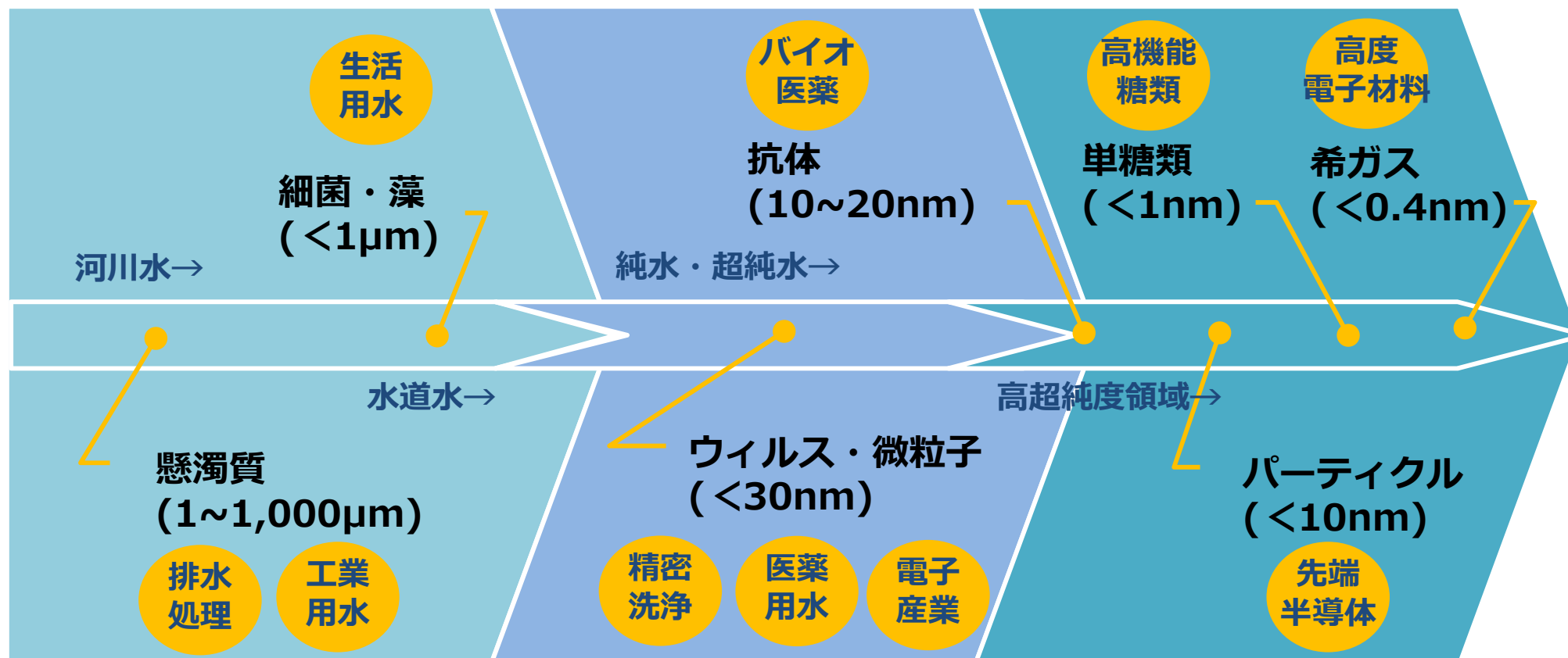
4-5. 長期経営ビジョン：展開地域の拡大

展開地域の拡大



4-6. 長期経営ビジョン：技術開発の方向性

ミクロへの挑戦



目次

1. 会社概要
2. 2018年3月期通期実績
3. 2019年3月期計画
4. 経営理念・長期経営ビジョン
5. 新中期経営計画（2018～2020）

5-1. 中期経営ビジョン

中期経営ビジョン

主要アジア経済圏において、**電子産業分野**をはじめとする産業に、最適な品質の水を、最も合理的なコストで、最もタイムリーに提供できる、収益力あるエンジニアリング会社

独自の分離精製プロセスにより、次世代産業の価値創造を支える事業を創出する会社

高付加価値の**機能商品**を生み出し続け、グローバルに展開する会社

5-2. 中期経営計画(2018~2020)

目標とする経営指標

2020年度 **売上高 900億円** / **営業利益 50億円**
連結ROE・営業利益率 5%以上を安定的に達成できる
収益構造を確立し、将来的にはROE8%以上を目指す

	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3
受注高	880	870	880	900
売上高	792	890	880	900
営業利益(%)	38(4.8%)	42(4.7%)	43(4.9%)	50(5.6%)
ROE (%)	5.5%	5.2%	5.2%	5.6%

5-3.中期計画：ROEの向上に向けて

ROEの改善

	ROE	収益性	効率性	財務レバレッジ
オルガノ	5.5%	3.5	82.5	191.3
同業他社平均	7.2%	5.3	80.0	169.5

※ ROE = 収益性 × 効率性 × 財務レバレッジ

- 収益性は同業他社に見劣り
- 効率性は平均並
- 財務レバレッジは適正な範囲内



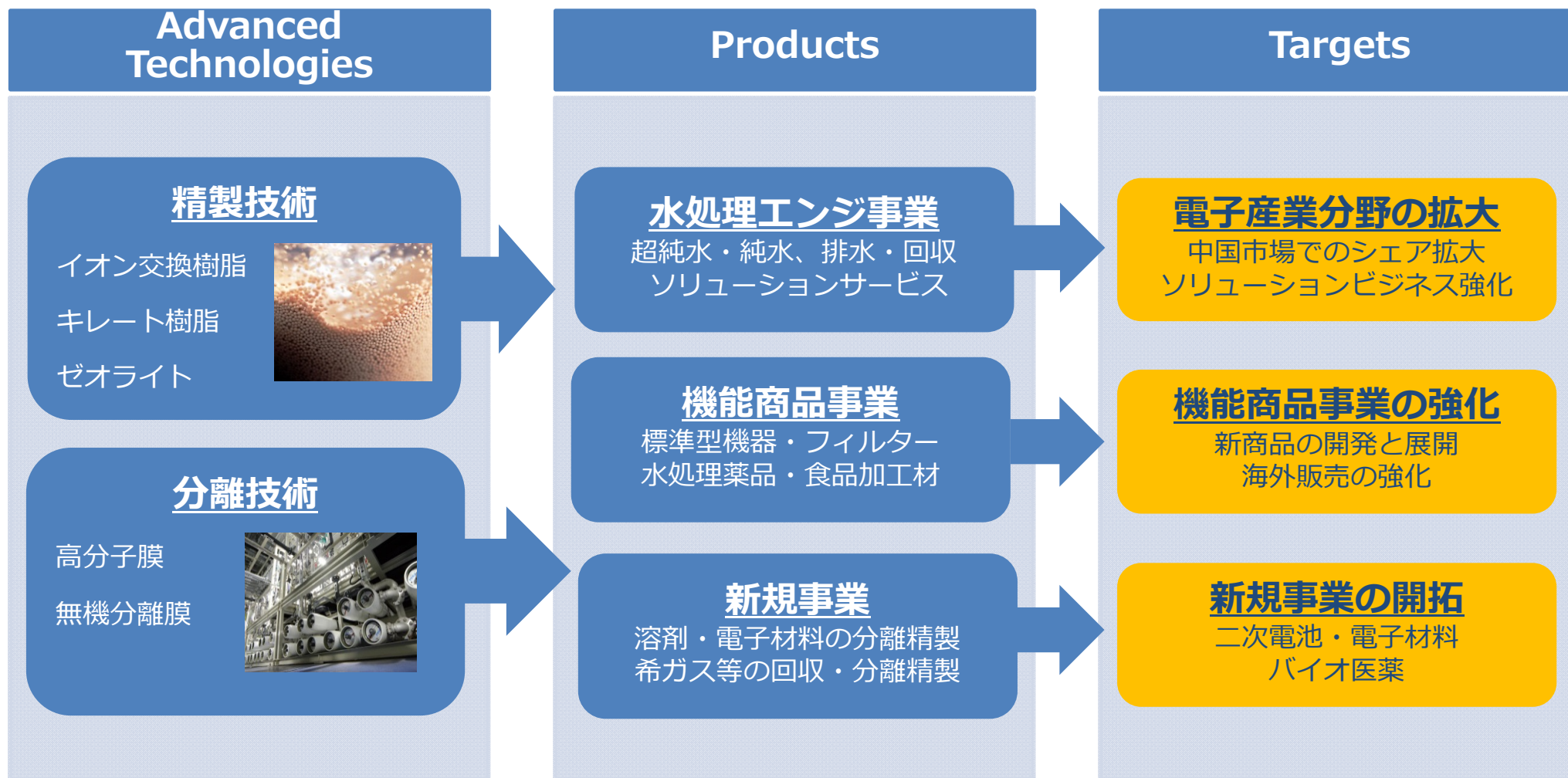
収益性の改善による

ROE向上を目指す

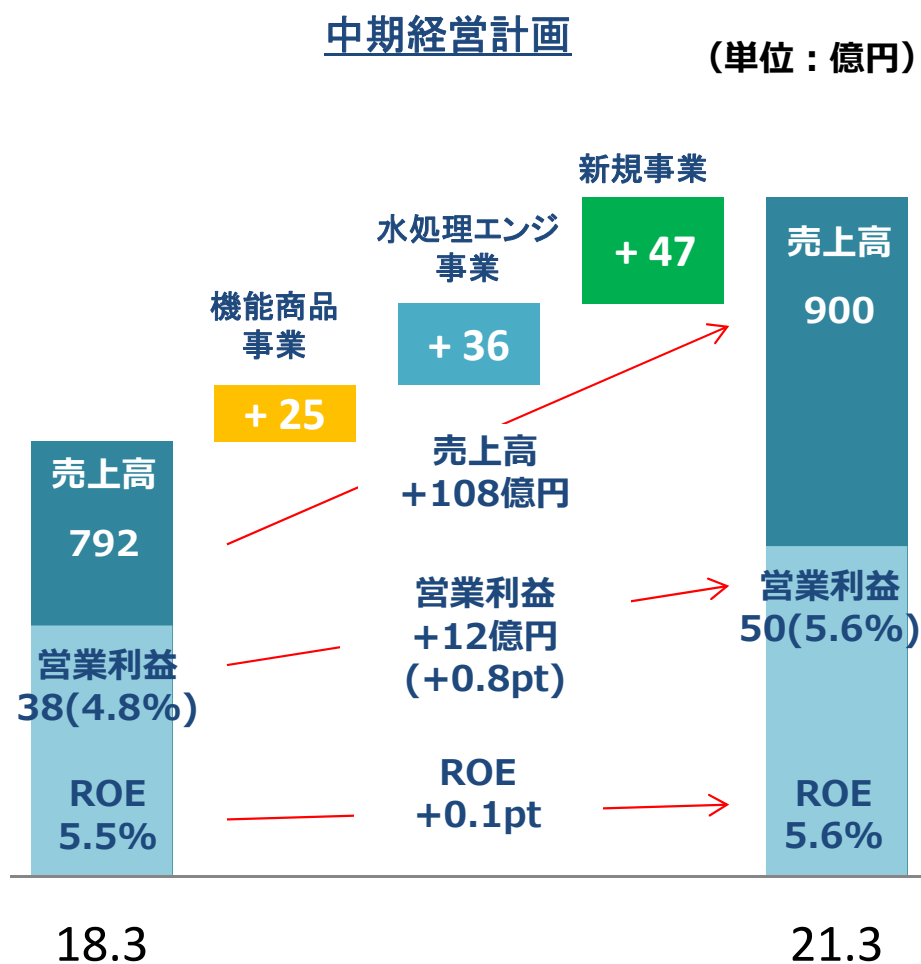
- ・コスト構造の改革
- ・機能商品の強化
- ・ソリューションの拡大

5-4. 中期経営計画 重点分野

重点分野は 電子産業 機能商品 新規事業



5-5. 中期経営計画の概要



機能商品事業

標準型機器や水処理薬品の新商品開発や海外展開の強化、食品分野の製造技術強化により事業の拡大を図る

水処理エンジニアリング事業

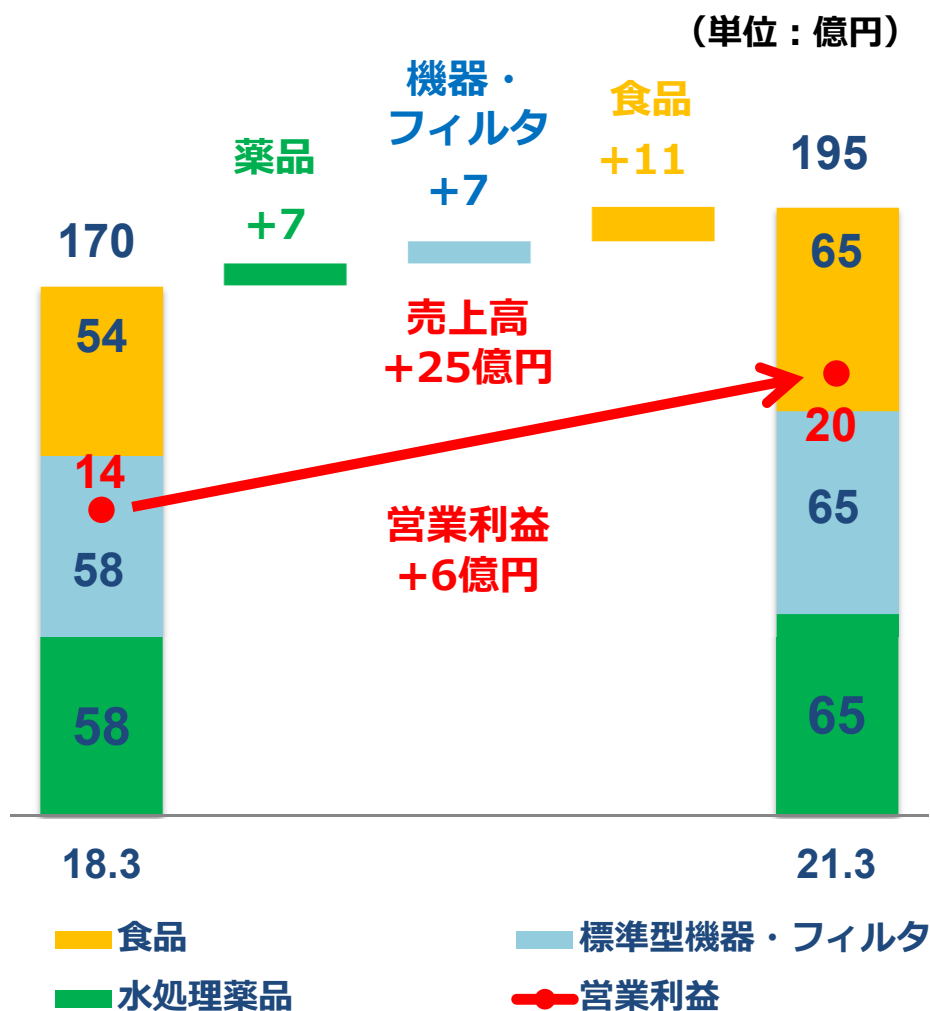
積極的な設備投資計画が続く中国の電子産業分野でのシェア拡大やソリューションビジネスの強化を図る

新規事業

EVなどで拡大が見込まれるLiB市場、微細化進む半導体製造関連の電子材料分野、バイオ医薬分野での薬効成分抽出などに当社の分離・精製技術を展開

5-6. 中期計画：機能商品事業の強化

機能商品事業 売上高・営業利益



水処理薬品

- ・新たな水処理薬剤の開発
- ・排水処理/電子産業向け薬剤などの海外拡販
- ・IoT/AIを活用したソリューションサービスの開発・展開

標準型機器・フィルター

- ・標準型純水・超純水装置 ピュアライト/ピューリックαシリーズラインアップ強化
- ・中国における販売・メンテ体制の構築
- ・生産体制の整備、効率化

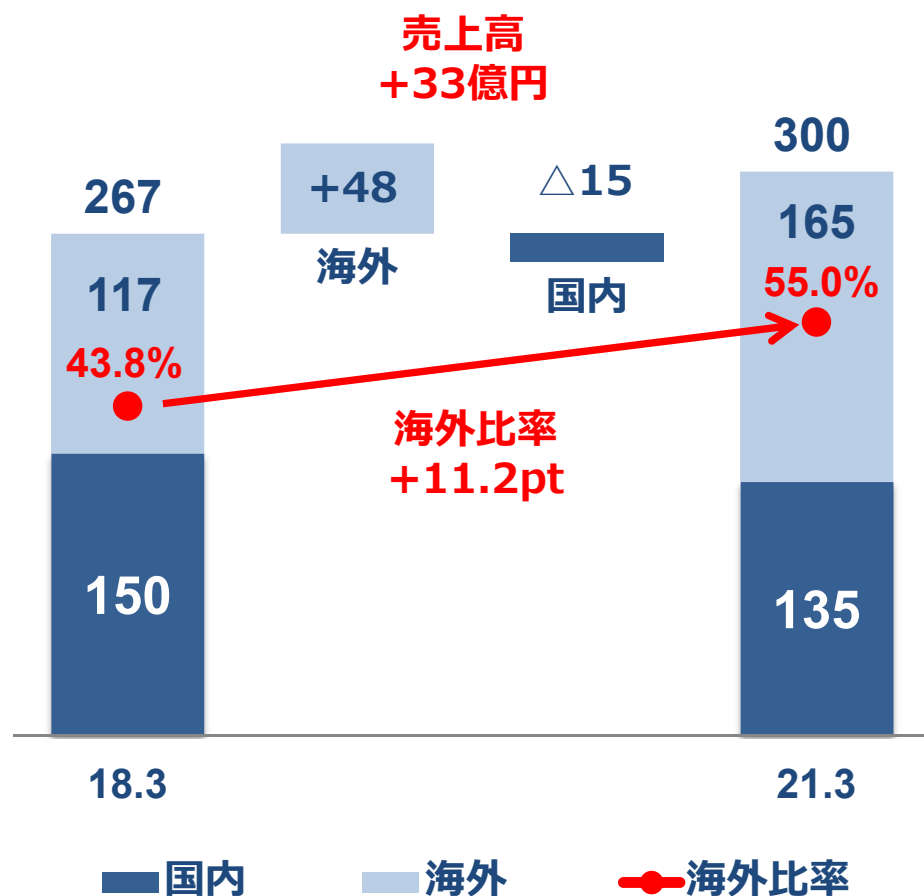
食品加工材

- ・顆粒技術など加工技術の高度化
- ・より安全性の高い生産体制の確立
- ・海外マーケティング機能の強化

5-7. 中期計画：電子産業分野の拡大

電子産業分野 中期計画

(単位：億円)



新たな市場へ

- 中国におけるシェア拡大・メンテ体制整備
⇒2019年以降の投資計画には不透明感・・・
- 国内/台湾の最先端投資に高度技術を展開
- 将来市場としてインドの体制整備

競争力の強化

- 抜本的なコスト構造の改革実行
⇒国内外のエンジニアリング体制再構築
- 顧客との共同実験の推進などによる差別化

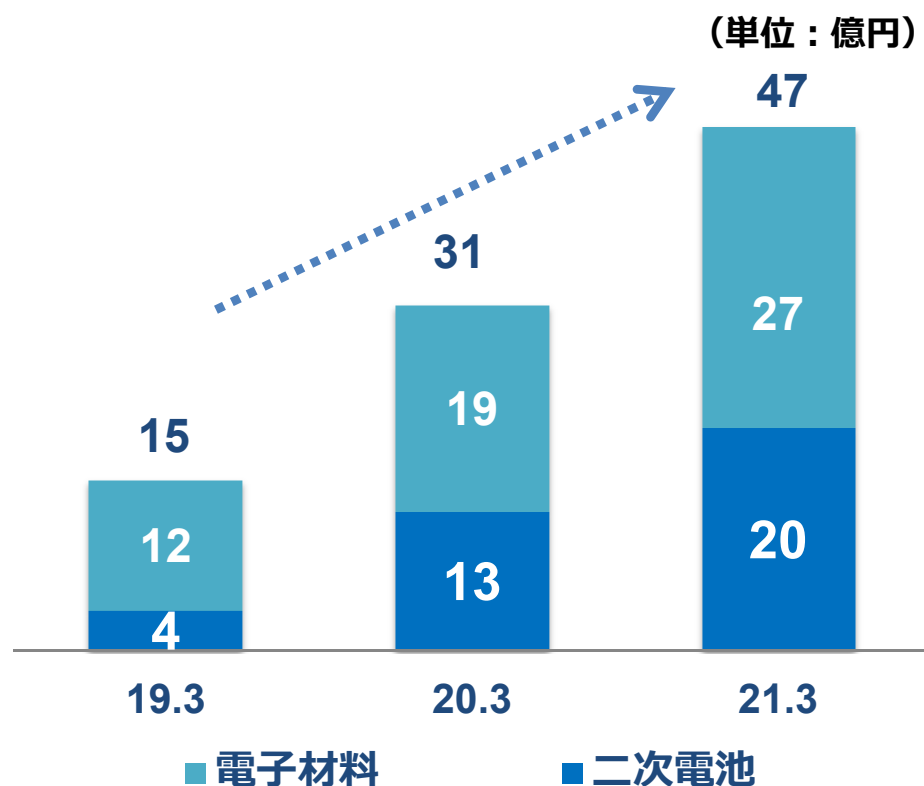
ソリューションビジネスの強化

- 収益性の向上と海外でのソリューション拡大に向けた体制整備
⇒国内外のメンテ体制を再構築

5-8. 中期計画：新規事業の開拓

- 独自の分離精製技術を溶剤・溶媒など水以外の分野に展開
- 二次電池分野・電子材料分野の市場開拓に取り組む

新規事業分野 売上計画



二次電池分野

- ・ LiB正極製造用の溶剤 (NMP)の回収・精製
- ・ LiB電解液の脱水・不純物除去など



⇒生産拡大進む中国をターゲットに展開

電子材料分野

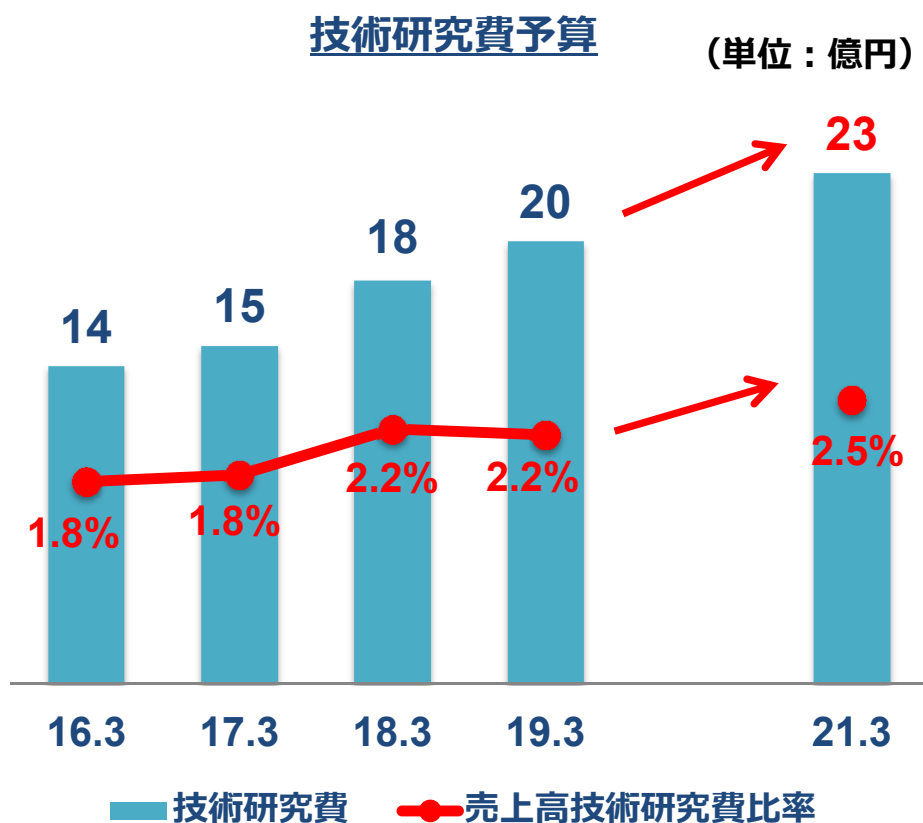
- 半導体製造（ウェットプロセス）で使用される有機溶媒やフォトレジスト・希ガス等の分離・精製・回収



⇒日本・台湾・米国など先端市場に展開

5-9. 中期計画：研究開発投資の強化

- 成長のドライビングフォースとして研究開発投資を強化
- 売上高研究費率 2.5% を目標に投資を拡大
- 高度な微細化・超純度ニーズに応える分離・精製・分析技術を強化



分離・精製・分析技術の強化

■ 最先端半導体

さらなる微細化(Xナノ)に対応する高度水処理技術の開発



■ バイオ医薬

製薬工程の効率化に貢献するナノスケールのタンパク質の分離精製プロセスの開発

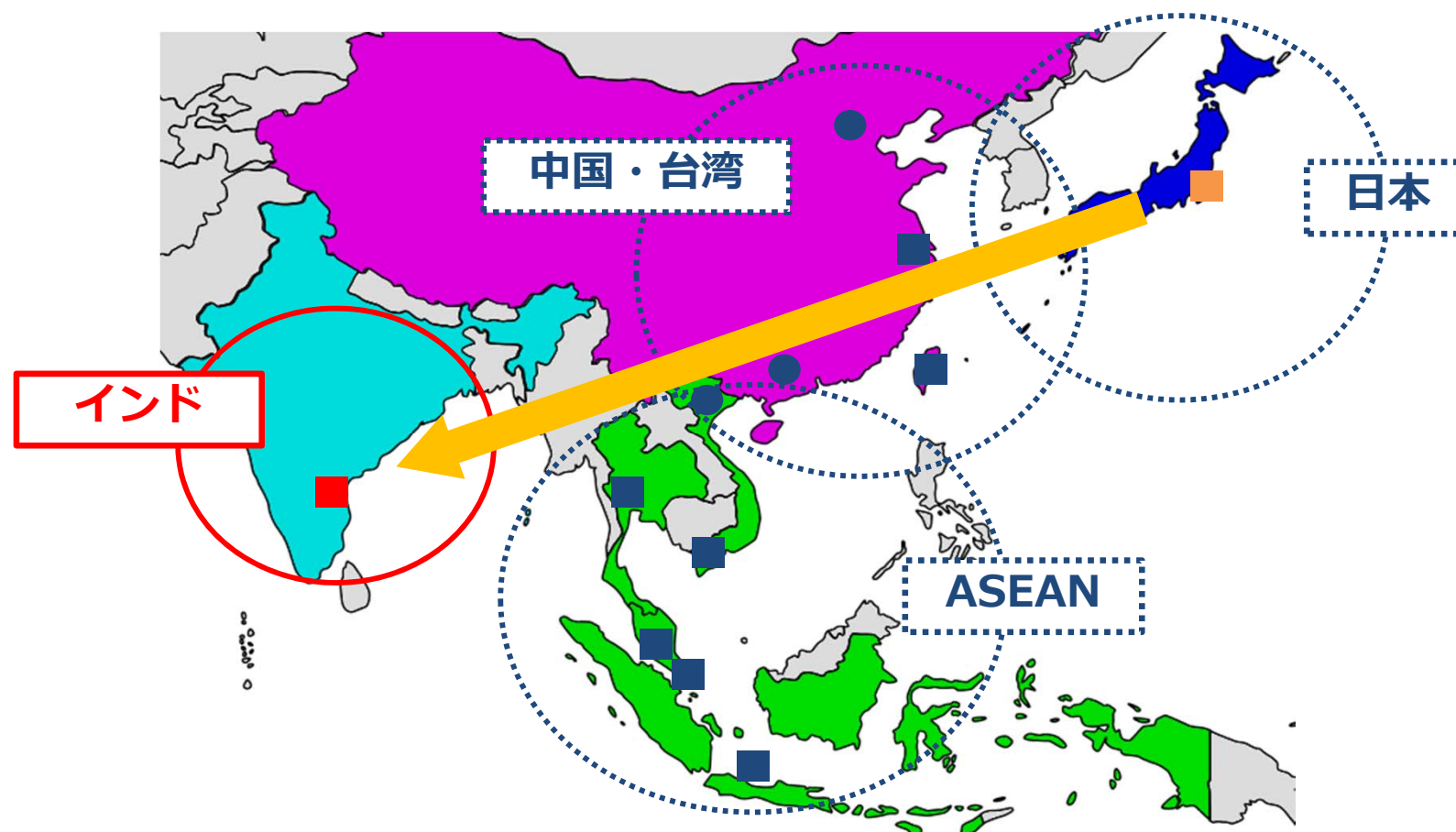


■ 機能商品

ラボ・医療向けの小型純水・超純水装置、各種フィルター・水処理薬品などのラインアップ強化

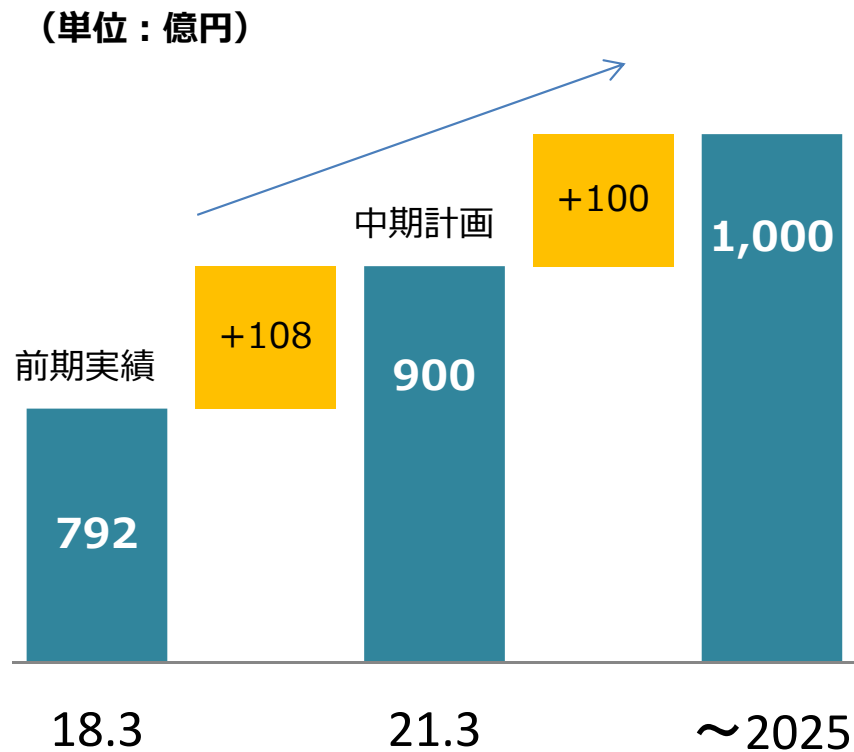
5-10.インド市場への展開

- 東アジア・東南アジアに続く市場としてインドへの展開強化
- 電子産業関連の市場・生産が成長、さらなる発展期待
- 2015年設立の現地法人をベースに、技術・納入体制を強化



5-11. さらに成長に向けて

- 2025年を目処に売上高 1,000億円を目指す
- インド市場への展開に加え、北米への再進出など展開地域を拡大
- 機能補完につながるM&Aなどを積極的に探索



北米への再進出

最先端の半導体の製造プロセスや、大都市における上下水道設備の更新需要などをターゲットに最先端技術を展開

M&A・アライアンス

海外を中心に機能補完につながるM&Aやアライアンス、技術導入などの積極的な探索を進める

5-12. 中期計画：計画達成に向けた体制の整備

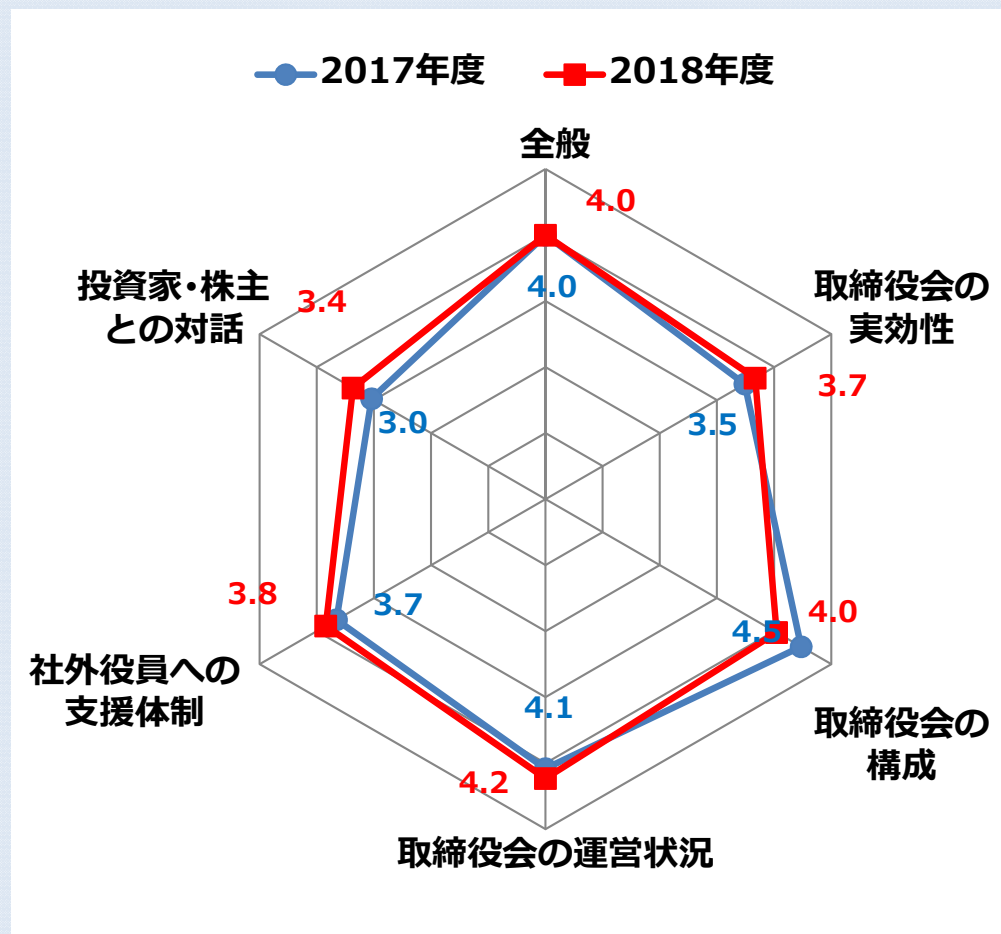
エンジニアリング・ 研究開発体制の再編	技術開発本部 を設置。研究開発機能とエンジニアリング機能を融合するとともに、コストダウンや海外エンジニアリング体制の強化を推進
海外事業の推進	海外事業推進本部 を設置。各事業における海外戦略の調整や、海外でのM&A・技術導入を強化
ソリューション ビジネスの強化	ソリューション推進室 を設置。国内・海外のビジネス体制を強化し、横断的戦略のもと事業拡大を推進
新規事業の開拓	分離精製ビジネスユニット を設置。二次電池・電子材料分野の開拓・事業化を推進
業務改革の推進	業務改革推進部 を設置。情報システムの刷新と一体的に業務改革・生産性の向上に取り組む

5-13. ガバナンスの改革

ガバナンス改革への取組み

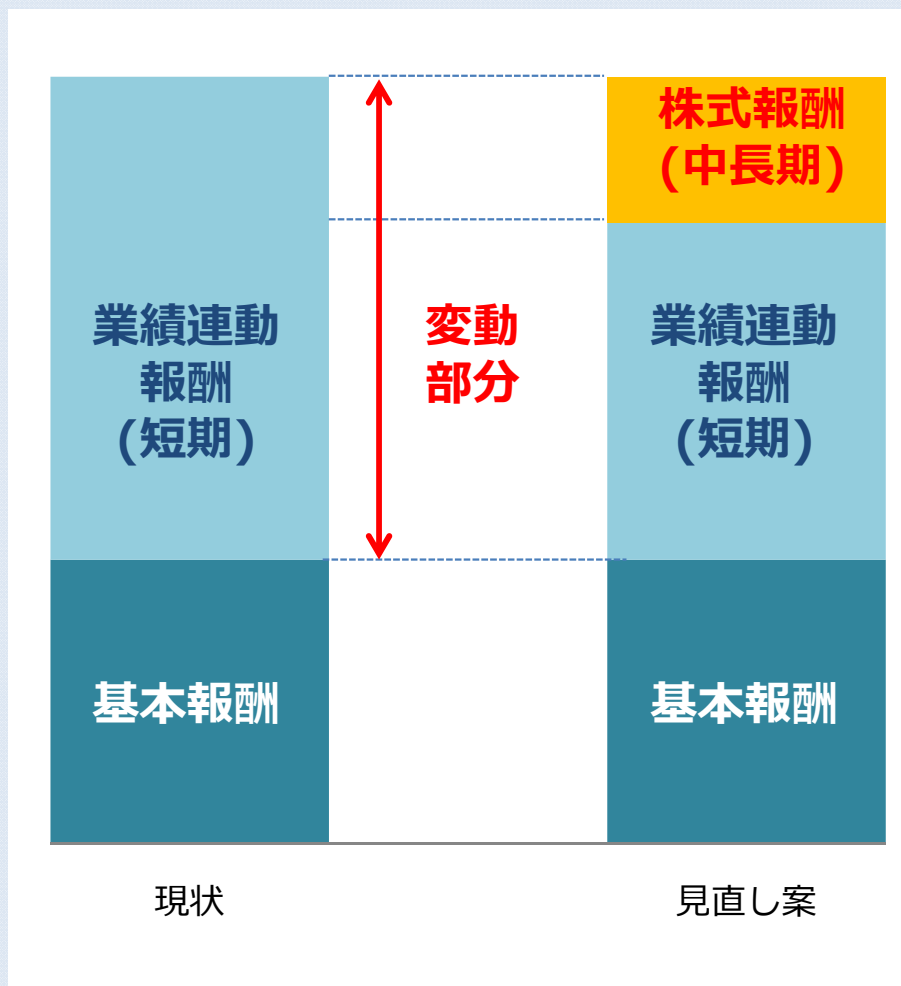
■ 過去の取締役会実効性評価の概要と対応状況

- ・ 企業目的と社会的意義の再考
⇒新たな経営理念と長期経営ビジョンを作成
- ・ 役員報酬基準と決定プロセス
⇒役員報酬制度の見直し
(後述)
- ・ 投資家・株主との対話の充実
- ・ 役員を選任に係る議論、取締役会の役割
⇒改善に向け取り組みを進める



5-14. コーポレートガバナンス改革

役員報酬制度の見直し



■ 株式報酬制度の導入

- ・ 中長期的なグループ業績の向上と企業価値増大に対する役員への貢献意識を高めることを意図
- ・ 2018年度より役員報酬の一部を業績連動型の株式報酬制度に改定
- ・ ROE（自己資本利益率）を基準に業績の達成度に応じ、報酬として株式を交付
- ・ 毎年交付を行い、交付から3年間は株式売却不可とする

オルガノ株式会社



お問い合わせ先

経営統括本部 経営企画部

TEL : 03-5635-5111 / FAX : 03-3699-7240 / E-mail : info@organo.co.jp

<https://www.organo.co.jp/>

本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

2018年3月期決算説明会 補足資料



オルガノ株式会社

2018年5月15日

<目 次>

1.	2018年3月期決算報告及び2019年3月期計画		
	① 連結損益	-----	1
	② セグメント別（連結）	-----	2
	③ 電子産業向 受注高・売上高（連結）	-----	2
2.	主な指標	-----	3

■■業績の予想について■■

本資料に記載される業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。



オルガノ株式会社

1. 2018年3月期決算報告及び2019年3月期計画

① 連結損益

(単位：百万円)

	2017年3月期		2018年3月期					2019年3月期 (計画)			
	通期		第2四半期累計期間		通期			第2四半期累計期間		通期	
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	前期比	計画	前期比
受注高	74,041	△ 3.2 %	39,588	3.3 %	78,500	88,049	18.9 %	40,000	1.0 %	87,000	△ 1.2 %
売上高	81,114	3.0 %	32,003	△ 6.9 %	81,000	79,226	△ 2.3 %	40,000	25.0 %	89,000	12.3 %
海外売上高 (海外売上高比率)	19,244	4.6 %	7,790	△ 5.9 %	20,300	16,994	△ 11.7 %	10,500	34.8 %	23,000	35.3 %
	23.7%		24.3%		25.1%	21.5%		26.3%		25.8%	
売上総利益 (売上総利益率)	18,644	5.0 %	7,212	△ 6.9 %	17,650	19,150	2.7 %	8,400	16.5 %	19,900	3.9 %
	23.0%		22.5%		21.8%	24.2%		21.0%		22.4%	
販管費	14,529	5.3 %	7,448	5.5 %	14,600	15,328	5.5 %	7,800	4.7 %	15,700	2.4 %
営業利益 (営業利益率)	4,114	4.2 %	△ 235	— %	3,050	3,821	△ 7.1 %	600	— %	4,200	9.9 %
	5.1%		— %		3.8%	4.8%		1.5%		4.7%	
経常利益 (経常利益率)	4,162	7.5 %	△ 182	— %	2,950	3,933	△ 5.5 %	550	— %	4,100	4.2 %
	5.1%		— %		3.6%	5.0%		1.4%		4.6%	
親会社株主に帰属する 当期 (四半期) 純利益 (当期純利益率)	2,731	9.9 %	△ 253	— %	2,000	2,780	1.8 %	320	— %	2,800	0.7 %
	3.4%		— %		2.5%	3.5%		0.8%		3.1%	

② セグメント別（連結）

（単位：百万円）

	2017年3月期		2018年3月期					2019年3月期（計画）			
	通期		第2四半期累計期間		通期			第2四半期累計期間		通期	
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	前期比	計画	前期比
受注高	74,041	△ 3.2 %	39,588	3.3 %	78,500	88,049	18.9 %	40,000	1.0 %	87,000	△ 1.2 %
水処理エンジ	57,611	△ 4.8 %	31,020	2.7 %	61,500	70,889	23.0 %	31,450	1.4 %	69,500	△ 2.0 %
機能商品	16,429	3.0 %	8,567	5.5 %	17,000	17,160	4.5 %	8,550	△ 0.2 %	17,500	2.0 %
売上高	81,114	3.0 %	32,003	△ 6.9 %	81,000	79,226	△ 2.3 %	40,000	25.0 %	89,000	12.3 %
水処理エンジ	64,700	2.9 %	23,581	△ 10.3 %	64,000	62,164	△ 3.9 %	31,450	33.4 %	71,500	15.0 %
機能商品	16,413	3.8 %	8,422	4.3 %	17,000	17,061	3.9 %	8,550	1.5 %	17,500	2.6 %
営業利益 （営業利益率）	4,114	4.2 %	△ 235	- %	3,050	3,821	△ 7.1 %	600	- %	4,200	9.9 %
	5.1%		- %		3.8%	4.8%		1.5%		4.7%	
水処理エンジ （利益率）	2,504	△ 1.9 %	△ 1,037	- %	1,400	2,403	△ 4.0 %	△ 50	- %	2,800	16.5 %
	3.9%		- %		2.2%	3.9%		- %		3.9%	
機能商品 （利益率）	1,609	15.5 %	802	△ 2.2 %	1,650	1,418	△ 11.9 %	650	△ 19.0 %	1,400	△ 1.3 %
	9.8%		9.5%		9.7%	8.3%		7.6%		8.0%	

③ 電子産業向 受注高・売上高（連結）

（単位：百万円）

	2017年3月期		2018年3月期					2019年3月期（計画）			
	通期		第2四半期累計期間		通期			第2四半期累計期間		通期	
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	前期比	計画	前期比
受注高	21,758	△ 9.8 %	11,513	2.6 %	25,040	34,280	57.6 %	16,000	39.0 %	32,630	△ 4.8 %
国内	9,902	8.8 %	7,578	41.5 %	12,100	19,663	98.6 %	8,500	12.2 %	15,220	△ 22.6 %
海外	11,856	△ 21.1 %	3,935	△ 32.9 %	12,940	14,617	23.3 %	7,500	90.6 %	17,410	19.1 %
売上高	25,555	△ 15.8 %	11,483	△ 3.3 %	26,685	26,698	4.5 %	17,500	52.4 %	35,200	31.8 %
国内	12,234	△ 28.9 %	5,796	△ 3.3 %	12,200	15,020	22.8 %	10,000	72.5 %	18,565	23.6 %
海外	13,321	1.2 %	5,687	△ 3.3 %	14,485	11,678	△ 12.3 %	7,500	31.9 %	16,635	42.4 %

2. 主な指標

(単位：百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期 (計画)		
	通期		通期		通期		
	実績	前期比	実績	前期比	計画	前期比	
連 結	設備投資額	903	49.7 %	644	△ 28.7 %	900	39.7 %
	技術研究費	1,495	6.2 %	1,776	18.8 %	1,950	9.8 %
	減価償却費	950	△ 0.0 %	972	2.3 %	1,100	13.1 %
	有利子負債	16,910	△ 2.9 %	15,484	△ 8.4 %	16,000	3.3 %
	金融収支戻	△ 41	—	△ 21	—	△ 40	—
	従業員数 (人)	2,100	+ 12 人	2,179	+ 79 人	2,200	+ 21 人
	EPS : 1株当たり当期純利益 (円)	237.18		241.50		243.22	
	1株当たり配当金 (円/年)	55		53		58	
	ROE : 自己資本当期純利益率 (%)	5.7		5.5		5.2	
	ROA : 総資産経常利益率 (%)	4.4		4.1		—	